

平成29年度  
「スポーツクラブ21ひょうご」  
芦屋市推進委員会

資 料

日時：平成29年8月29日（火）15：30～  
会場：芦屋市立体育館・青少年センター3階  
第2研修室

## 平成28年度 決算書・事業報告書

1. 平成28年度決算書（9クラブ分）
2. 平成28年度事業報告書（9クラブ分）

## 収 支 決 算 書

# 三 条

# S C 2 1

1 収入の部 クラブ名 (三条スポーツクラブ 21)

科 目	決 算 額	摘 要
基金 助成金	( 1,920,458 円 ) 1,920,458 円	前年度より繰越し
自主財源 自主財源	( 540,626 ) 540,626	前年度より繰越し
会費	( 50,000 ) 44,800	100円 x 448人
雑収入	( 1,000 ) 25,500	秋のお楽しみ会、年間印刷機使用料等
利息	( 500 ) 99	基金通帳利息 92円、自主財源利息 7円
計	( 2,512,584 ) 2,531,483	

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
基金 運営拠点整備費	( 150,000 円 ) 0 円	
スポーツ用品購入費	( 200,000 ) 32,400	ラインパウダー
運営費	( 500,000 ) 133,205	夏の夜の集い・運動会他
管理費	( 50,000 ) 3,633	クラブハウス電気代
事務・消耗品費	( 100,000 ) 30,282	用紙・インク代他
次年度に繰越し	( 920,458 ) 1,720,938	
自主財源 運営費	( 40,000 ) 12,836	総会茶菓子代他
保険料	( 20,000 ) 11,620	一日保険料 (運動会、会下山ウォーキング)
分担金	( 1,000 ) 1,000	スポーツ21連絡協議会28年度会費
次年度に繰越し	( 531,126 ) 585,569	
計	( 2,512,584 ) 2,531,483	

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。  
 ・申請内容を上段に ( ) 書き、実績を下段に記入する。

## 三糸スポーツクラブ21 平成28年度 事業実績書

- 1 指定小学校区 芦屋市三糸コミュニティスクール地域（旧芦屋市立三糸小学校区） 約3,600世帯 約8,500名
- 2 活動拠点となったクラブハウス設置場所 芦屋市立山手中学校第2グラウンド内(旧三糸小学校敷地)
- 3 スポーツ活動を行った施設名 芦屋市立山手中学校第2グラウンド・第2体育館
- 4 上記施設以外に連携した施設名 芦屋市立山手中学校第1グラウンド、芦屋市立三糸地区集会所
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図

運営委員長	1名	} 役員会	} 推進委員会	} 運営委員会	} 総会
推進委員長	2名				
会計・庶務	4名				
広報	1名				
推進委員	38名				
会計監査	2名				
運営委員	100名				
三糸スポーツクラブ21会員	448名				

- 6 クラブ設立年月日  
 昭和53年9月 三糸コミュニティスクール発足  
 平成13年3月 三糸スポーツクラブ21設立

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	1回当たり出席者数	開催場所	備考
100名	3回（約2時間）	80名	コミスクプレイルーム	運営委員会
50名	8回（約2時間）	40名	クラブハウス その他	推進委員会

年間事業計画、事業企画・推進、行事实行委員会、予算、スポーツ保険推進、会員募集、施設利用日程調整 等

8 クラブ名、会員数(性別、年齢構成) 及び活動した種目

クラブ名	会員数(性別、年齢構成)			活動種目
三糸スポーツクラブ21	448人	男214(人)	女234(人)	・少年野球 ・少年サッカー ・バレーボール ・健康体操 ・卓球 ・硬式テニス
	～10歳	100	85	
	～20歳	55	35	
	～30歳	2	1	・公式ワナゲ ・ウォーキング ・ラジオ体操 ・民謡踊り
	～40歳	27	23	
	～50歳	10	13	
	～60歳	10	15	
	61歳以上	10	62	

9 配置した指導者の資格名と資格別人数

スポーツ推進委員(日本体育協会スポーツリーダー、体力測定判定員等)2名、兵庫県軟式少年野球審判員 6名、  
 スポーツ指導員(健康体操)・中学校保健体育教諭資格 1名、サッカー指導 C級 1名・D級 4名・審判員 4級 10名

10 実施した事業内容

実施事業者名	ねらい等	回数、日数	対象者	参加人数	開催施設
少年サッカー	定期的練習 及び スポーツの普及 (生涯スポーツの普及)	毎週 日曜日	三糸スポーツ クラブ21会員	66名	第2グラウンド
少年野球		毎週 土・日		35名	第2グラウンド
卓球		毎週 土曜日		10名	第2体育館
健康体操		月3回 水曜日		21名	三糸地区集会所
硬式テニス		毎週 日曜日		10名	第2グラウンド
バレーボール		毎週 土曜日		12名	第2体育館
アジャタに挑戦!	ニュースポーツ講習会	6/19	スポーツ21 クラブ会員 及び 地域住民	30名	第2体育館
公式ワナゲ大会		2/18、2/22		15名/30名	第2体育館・三糸地区集会所
ラジオ体操	公式ワナゲ普及・推進活動	7/25～8/27		延べ2,500名	地域内4会場
民謡踊り		8/17、8/23		延べ100名	三糸地区集会所
第37回運動会	地域交流	11/3		450名	第2グラウンド
ウォーキング	多世代交流	1/1		50名	地域内
広報活動	活動報告・部員募集	年2回	コミスク合同展、山手小学校展覧会併設コミスク活動展	3,200世帯	
	行事告知・活動報告	年4回			

## 平成28年度 収 支 決 算 書

## 1 収入の部

クラブ名 ( スポーツクラブ21 潮見 )

科 目	決 算 額	摘 要
助成金	( 2,320,618 円 ) 2,320,618 円	市推進委員会事務局より (前年度繰越金)
クラブ財源金	( 1,469,199 ) 1,469,199	クラブ自主財源 (前年度繰越金)
年会費	( 85,000 ) 98,500	年会費 (自主財源)
イベント参加費	( 30,000 ) 20,100	行事参加費 (自主財源)
雑収入	( 50,000 ) 44,751	事業収益金 (自主財源)
利息	( 500 ) 159	銀行利息 (自主財源) 基金及びクラブ
計	( 3,955,317 ) 3,953,327	(左記金額内の自主財源1,632,709円)

## 2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
運動拠点整備費	( 300,000 円 ) 109,439	管理備品 (クラブ備品・事務室備品)
消耗品費	( 50,000 ) 13,608	事務用品印刷機マスター・トナー
諸謝金	( 30,000 ) 20,000	防災関連事業謝金
事業費	( 80,000 ) 83,443	地域スポーツ参加費用 35,000 夏祭り備品・飲料 18,643 (自主) 健康フェスタ19,800 (自主) オープンスクール事業費 (10,000)
雑費	( 10,000 ) 724	振込手数料
通信運搬費	( 40,000 ) 30,000	役員通信運搬費 (30,000)
会議費	( 10,000 ) 7,486	県会費 (1,000) キッズ打ち合わせ (1,800) 式典打ち合わせ4,686 (自主)
保険料	( 20,000 ) 18,880	オープンスクール保険料
基金	( 1,820,618 ) 2,080,167	平成29年度へ繰越金
クラブ積立金	( 1,594,699 ) 1,589,580	平成29年度へ繰越金
計	( 3,955,317 ) 3,953,327	

平成 年 月 日 会計監査

印

会計監査

印

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。  
・申請内容を上段に ( ) 書き、実績を下段に記入する。

S C 2 1  
潮見

# 事業報告書(28年度)

## 1. 指定小学校区とその概要(芦屋市立潮見小学校区)

当校区は、兵庫県企業庁が昭和50年代はじめに芦屋浜を埋め立て、開発した「芦屋浜シーサイドタウン」の宮川以西及び南芦屋浜の新興住宅地である。

高層住宅、中層住宅、低層連続住宅、独立住宅が昭和54年から入居以来関係住民が精力的に活動し、加えて昭和56年にコミュニティ・スクールが設置されスポーツや文化活動を通じて比較的まとまりのある校区である。

また、阪神淡路大震災のあと南芦屋浜地区に復興住宅が大量に建設され新たな住民の増加と独立住宅も多数建設され、新たなコミュニティづくりに苦慮しているところもある。

また、少子化と生活環境の多様化など、余暇を利用してのスポーツや地域行事に参加する人口が減少しているが、既存のスポーツクラブにおいては指導者や保護者の協力ののもとに、青少年の育成と体力の向上を目的に地域に根ざした活動を活発に行っている。

## 2. 活動拠点となるクラブハウス設置場所(連絡先[TEL, FAX])

芦屋市立潮見小学校 南校舎 3階  
芦屋市潮見町1番2号

## 3. スポーツ活動を行う施設名とその概要

小学校 グラウンド及び体育館

## 4. 上記施設以外の他の連携する施設名 該当なし

## 5. 運営委員会の構成員とクラブ運営組織図及びクラブ設立年月日

平成13年6月3日(クラブ設立年月日)

## 6. クラブ設立までの経緯

実施時期	事項	内容
平成12年 9月	準備幹事会	スポーツクラブの趣旨確認
平成12年11月	〃	参加意思の確認
平成13年 1月		
平成13年 4月23日	準備幹事会	会則・事業計画・予算最終原案
平成13年 5月	準備幹事会	会則・事業計画・予算原案作成 設立総会の準備・年間計画の調整
平成13年 6月3日	設立総会	会則の承認・役員選出 事業計画の承認・予算の承認

## 7. 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数 (時間数)	1回当たりの出席者数	開催場所	備考
25名	10回 (毎1.5h)	25名	潮見小2F SC21会議室	運営委員会及び 事業準備委員会
1. クラブ活動報告		2. 事業内容の打合わせ		
3. 広報活動について		4. 連絡調整等		
年次総会	28年5月19日(木)開催		潮見小SC21会議室	新旧委員40名

## 8. クラブ名等

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	種目名
シーサイド若葉	18~60歳(男子) 17名	野球
潮見スターズ	6~12(男女) 22	少年野球
〃 指導者	20~60(男) 11	
たんぼぼ	40~70(男女) 10	卓球
潮見ミニバスケット教室	7~12(男女) 33	バスケット
〃 指導者	30~60(男女) 2	〃
シーサイドバスケット	20~60(女子) 15	〃
潮見少年サッカークラブ	5~12(男子) 22	サッカー
〃 指導者	20~60(男子) 5	〃
潮見フットサルクラブ	20~30(男子) 13	〃
空手クラブ	5~60(男女) 11	空手
潮見バドミントンクラブ	20~60(男女) 15	バドミントン
スポンジボールテニス潮見	20~75(男女) 27	クォーターテニス
潮見健康体操倶楽部	体部中	
アップル(Jr.英会話)	6~12(男女) 22	英会話と遊び
金管バンド	10~12(男女) 23	金管楽器演奏
和太鼓あしかげ	40~80(男女) 16	和太鼓演奏
指導者	60(男子) 1	

合計265名

## 9. 配置した指導者の資格名と資格別人数

種目	指導者の資格名	資格別人数
バスケット	兵庫県家庭婦人公認審判員	1名
サッカー	日本サッカー協会C級指導員	3名
〃	〃 D級指導員	2名
〃	〃 4級審判資格	5名
〃	〃 3級審判資格	2名
フットサル	フットサル審判4級	4名
空手	全日本空手道連盟6段	1名
こくさいひろば芦屋	教員免許	9名
少年野球	県軟式野球連盟 公認審判員	2名
〃	県軟式少年野球協会A級ライセンス	6名

10. 実施した事業内容（事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。）

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
夏休みラジオ体操	体力づくりと地域交流	28年7月21日 ～7月31日	地域住民 (子ども ～大人)	延 250名	潮見小学校 グラウンド
ニューススポーツ &餅つき大会 「1.17は忘れない」	上記と同じ目的	1回 (29.1.29)	地域住民 (大人～ 子供)	500名	潮見小学校 グラウンド
広 報 活 動	クラブ活動と各事業への 参加を呼びかけるポスター・ チラシを配布。	年間 4回	地域内		
《その他の活動》 ドラゴンボートレ ース大会参加	各種スポーツ大会へ参 加し、他団体との交流	28年 7月31日	大人・ 青少年	6チーム	南芦屋浜 水路
スポーツフェスティ バルへの参加	芦屋浜健康フェスタ協力 (体力テスト協力)	28年10月16日	地域住民 大人から 子ども	400名	潮見中 グラウン ド
《オープンスクール》 少年サッカー 少年野球 金管バンド	種目団体による 地域でのスポーツ活性化 及び会員増強の為に実施	4月 5月 11月	地域の 子ども	多数参加	潮見小 体育館 グラウン ド 音楽室

以 上

# SC21 宮川

平成28年度 会計収支決算書  
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(スポーツクラブ21宮川)

収入の部 【(予算額)単位:円】

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	(206,485) 206,485	
会費	(180,000) 182,000	182名×1000円
備品・機材貸出料	( 10,000) 12,000	照明・音響代
雑収入	( 20,000) 23,721	印刷代
利息	( 50) 2	
合計	(396,535) 424,208	

支出の部 【(予算額)単位:円】

項目	決算額	摘要
会議・事務費	( 20,000) 13,292	マスター・インク代
拠点整備費	( 20,000) 21,020	体育館用ワックス・鍵代
広報誌作成費	( 10,000) 10,000	印刷代
夏祭り費	( 20,000) 13,000	保険料・ゴミ処理代
スポーツフェスティバル費	(100,000) 77,637	保険料・競技用賞品代
文化祭費	( 10,000) 7,200	保険料
臨時事業費	( 10,000) 2,928	スポーツチャレンジ賞品代
対外活動費	( 10,000) 500	交通費
雑費	( 10,000) 0	
修繕・維持費	(160,000) 100,000	印刷機代
予備費	( 26,535) 0	
次期繰越金	( - ) 178,631	次期繰越
合計	(396,535) 424,028	



# 事業報告書

## 1 指定小学校区とその概要

### 「芦屋市立宮川小学校区」

芦屋市立宮川小学校は本年で創立90周年を迎える伝統ある小学校である。その故に小学校区内の住民は宮川小学校の卒業生が多く、小学校に対する親しみも強く、また、古くから住んでいる人達が多く地域の連帯感がある。小学校区内の7つの町の自治会町内会も活性化しており、20年以上の歴史を持つコミュニティ・スクールへの参加率も高く各種の活動が活性化している地域である。

地域的に利点があるのは小学校が小学校区の真中にあり、人々が集まりやすい事がある。

## 2 活動拠点となったクラブハウスの設置場所

### 「芦屋市立宮川小学校グラウンド南プール棟1階」

宮川小学校グラウンド南プール棟の1階は宮川コミュニティ・スクールのフロアとして使用しているのでその一室を改造して「スポーツクラブ21 宮川」のクラブハウスとして使用する。

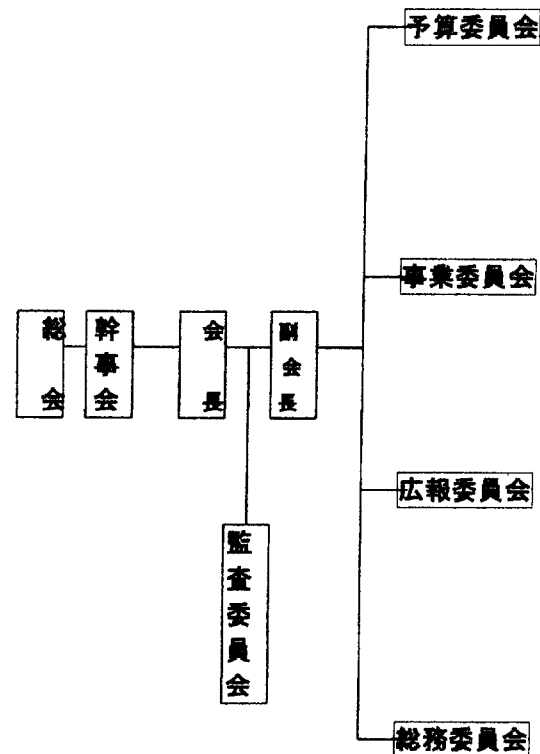
## 3 スポーツ活動を行なった施設名とその概要

小学校体育館・グラウンド・コミスクフロア

## 4 上記施設以外の他の連携する施設名

該当なし

## 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要



会長	1名
副会長	2名
役員	6名
幹事	8名



スポーツクラブ 21 宮川  
幹事会

## 6 クラブ設立までの経緯

実施日	事項	内容
平成13年6月10日	設立準備委員会発足	委員を選出及び概略説明
平成13年7月14日	スポーツ指導者公聴会	各クラブの現状把握及び希望聴取
平成13年7月21日	設立準備委員会	規約・予算他の草案作成
平成13年8月22日	事務局会議	各種打合せ
平成13年9月22日	設立準備委員会	規約・予算・組織他の最終案決定
平成13年10月20日	事務局会議	総会準備
平成13年10月27日	設立総会	

## 7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	1回当たり出席者数	開催場所
17名	11回	平均15名	宮川コミスク会議室
事業の企画立案・予算処置・企画実施打ち合わせ			

## 8 クラブ会員数（性別・年齢構成）及活動種目

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	活動種目
宮川少年サッカースクール	67名(小学生 男子67名)	サッカー
宮川ミニバドミントンクラブ	15名(小学生 女子13名 男子2名)	バドミントン
宮川バドミントン同好会	8名(15歳以上 女子8名)	バドミントン
宮川クラブ	14名(成人 女子14名)	バレーボール
ソフトバレーボールクラブ	14名(成人 女子14名)	ソフトバレーボール
宮川少年野球団	12名(小学生 男子12名)	野球
宮川ミニバスケットボール	17名(小学生 男子17名)	バスケットボール
宮川空手道教室	35名(成人5名 小学生30名)	空手
8団体	182名	

## 9 配置した指導者の資格名と資格別人数

種目	指導者の資格	資格別人数
サッカー	地域有志	13名
野球	公認審判員	4名
	地域有志	12名
バスケット	公認審判員	3名
	地域有志	0名
バドミントン	公認審判員	2名
	地域有志	3名

## 10 実施した事業内容

実施事業名	ねらい等	回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
夏祭り	地域活性化	1回	地域全員	約500名	体育館 他
宮川国際スポーツフェスティバル	4世代・国際交流	1回	地域全員	約700名	グラウンド
各クラブ活動	専門種目の個別活動	週 1~2回	各会員	182名	全施設

# SC21 YAMATE

別記(準用)

## 収 支 決 算 書

### 1 収入の部

クラブ名 (スポーツクラブ21YAMATE)

科 目	決 算 額	摘 要
基 金	(2,894,437) 2,894,437	
自 主 財 源 額	(4,349,033) 4,349,033	
会 費	(150,000) 171,500	年会費 500 円×343 人
運営拠点維持費	(25,000) 30,300	100 円×303 人
参加費・事業費	(250,000) 183,000	ドッジボール大会・プール講習会 フェスタ カレー代金
利 息	(1,030) 83	自主財源 ①基金通帳利息 25 円 ②クラブ通帳基金 58 円
計	(7,669,500) 7,628,353	

### 2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
運営拠点整備費	(100,000) 26,114	管理備品費
スポーツ用品購入費	(250,000) 46,332	各種スポーツ用品購入費 修理費
報 奨 費	(200,000) 140,000	指導者 謝礼金・交通費等
運 営 費	(200,000) 46,366	イベント開催費用
傷 害 保 険 料 (役員・各種行事)	(4,000) 16,640	スポーツ保険
消 耗 品 費	(100,000) 53,405	事務用品消耗品費等
会 議 費	(10,000) 1,000	スポーツクラブ 21 芦屋連絡協議会会費
クラブハウス維持費	(25,000) 16,868	光熱費・電話代等
使用料・賃貸料	(20,000) 0	スポーツ施設・会議費・用品等使用料
通 信 運 搬 費	(10,000) 82	会員連絡送料
印 刷 製 本 費	(100,000) 34,158	広報紙・HP 管理費・会員証作成費等
基 金	(1,875,437) 2,513,472	
自 主 財 源	(4,775,063) 4,733,916	
計	(7,669,500) 7,628,353	

(注)・収支の計はそれぞれ一致する。

・申請内容を上段に( )書き、実績を下段に記入する。

## 事業実績書

1. 芦屋市立山手小学校
2. 芦屋市立山手小学校 西棟3F 芦屋市山手町8-3
3. 小学校運動場・体育館・プール
4. 芦屋市大原町大原集会所
5. 総会資料添付
6. 2000年10月 地域住民にPR  
2001年11月26日 設立
7. 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数(時間数)	1回あたりの出席者数	開催場所	備考
40人	11回(11×1時間)	25~30人	クラブハウス	
<b>(委員会の主な内容)</b>				
月日	内 容			
5・6	第16回総会 引き続き役員会にて年間行事について検討 ・ドッジボール大会準備			
6・8	・5月21日開催 ドッジボール大会の反省 ・7月21~25日 水泳講習会について講師と打ち合わせ ・各クラブの報告および行事予定			
7・6	・7月25~29日 水泳講習会 参加者予定 90人 ・8.27 サリュ!ペタンク オープン大会 打ち合わせ(会場の芦屋学園高校に依頼) ・各クラブの報告および行事予定			
9・14	・「水泳講習会」の反省 ・「サリュ!ペタンク オープン大会」の反省 ・10月10日「市民スポーツフェスタ」(芦屋市スポーツ推進委員会:主催) ・参加クラブ募集→エントリークラブなし ・各クラブの報告および行事予定			
10・12	・10月19日「みんなで遊ぼう~ニュー・スポーツを体験しよう~」の打ち合わせ ・各クラブの報告および行事予定			
11・9	・各クラブの報告および行事予定 ・12月10日 山手コミスク主催「餅もちフェスティバル」に協力の打ち合わせ			
12・9	・「餅もちフェスティバル」最終打ち合わせ ・各クラブの報告および行事予定			
H29年	・「餅もちフェスティバル」反省&申し送り事項			
1・11	・広報紙掲載原稿を各クラブに依頼 ・各クラブの報告および行事予定			
2・8	・各クラブの報告および行事予定			
3・8	・新年度にむけて出向役員の依頼 ・4月15日「YAMATE フェスタ」について ・各クラブの報告および行事予定			
4・12	・新旧出向役員の引き継ぎ ・4月15日「YAMATE フェスタ」について 炊き出し打ち合わせ			

- ・各クラブの行事予定
- ・総会に向けて 打ち合わせ

## 8. クラブ名・会員数(性別・年齢構成)及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	種目名
山手・三条サッカークラブ	66人(男性59人 女性7人) ~10歳 男性48人 女性7人 ~40歳 男性2人 ~50歳 男性6人 ~60歳 男性2人 ~70歳 男性1人	サッカー
山手バスケット ONESELF	20人(男性10人) ~20歳 男性1人 ~30歳 8人	バスケットボール
山手バスケット 土曜クラブ	20人(男性20人) ~30歳 男性2人 ~30歳 男性16人 ~40歳 男性3人	バスケットボール
山手ミニバスケットボール教室	9人(男性9人) ~10歳 男性9人	バスケットボール
クォーターテニスクラブ	12人(男性4人 女性8人) ~10歳 男性1人 女性1人 ~20歳 男性7人 女性3人 ~61歳 男性4人 女性8人	クォーターテニス
山手スポーツ空手クラブ	49人(男性35人 女性14人) ~10歳 男性18人 女性7人 ~20歳 男性7人 女性3人 ~30歳 ~40歳 ~50歳 男性6人 女性4人 ~60歳 男性1人	空手
サリュ! ペタンク	12人(男性7人 女性4人) ~20歳 男性1人 ~40歳 男性1人 ~50歳 男性1人 ~60歳 女性1人 61歳~ 男性4人 女性3人	ペタンク
卓球クラブ	10人(男性2人 女性8人) ~10歳 女性3人 61歳~ 男性2人 女性5人	卓球
YAMATEアスリートクラブ	24人(男性14人 女性10人) ~10歳 男性14人 女性10人	陸上
YAMATE 体操クラブ	24人(男性14人 女性10人) ~10歳 男性14人 女性10人	体操

健康体操クラブ	20人(女性20人) ～50歳 女性2人 61歳～ 女性18人	体 操
山手太鼓	11人(男性1人 女性10人) ～10歳 女性2人 ～20歳 男性1人 女性4人 ～30歳 女性1人 ～40歳 女性1人 ～50歳 女性2人	和太鼓
芦屋ベアーズ	34人(男性34人) ～10歳 男性20人 ～20歳 ～30歳 ～40歳 男性2人 ～50歳 男性7人 ～60歳 男性5人	野 球

### 9. 配置した指導者の資格名と資格別人数

空手クラブ： ██████████ (全日本空手道連盟系東会五誓会)  
 ██████████ (全日本空手道連盟公認四段・全日本空手道連盟系東会助教  
 日本体育協会公認地域スポーツ指導員・日赤救急法認定救急員  
 兵庫県空手道連盟 県審判員)  
 ██████████ (全日本空手道連盟系東会二段)  
 ██████████ (全日本空手道連盟系東会三段)  
 ██████████ (全日本空手道連盟系東会二段)

サッカークラブ： 審 判 員 3級:1人 4級:8人  
 4種公認指導員 C級:1人 D級:2人

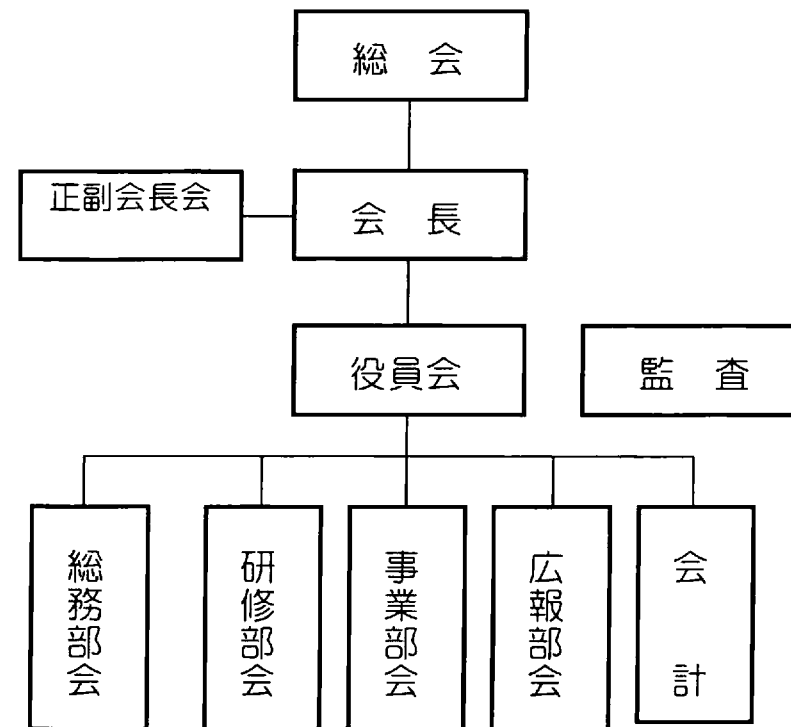
バスケットボールクラブ:日本バスケットボール協会 JABBA 公認コーチD級地域スポーツライセンス 2人  
 健康体操クラブ:健康運動指導士・日本ウォーキング協会ウォーキング指導員・健康支援トレーナー  
 YAMATE 体操クラブ:幼児教育初級公認指導員

### 10. 実施した事業内容

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
親子ドッジボール大会	親子のふれあい	5月21日	山小家族	150人	山小運動場
各クラブオープン教室	クラブPR 新会員獲得	4・5月	地域住民	各20人 程度	山小体育館 山小運動場
YAMATEフェスタ	クラブPR 新会員獲得	4月16日	地域住民	200人	山小体育館 山小運動場
山手コミスク 「夏の夜のつどい」共催	地域の親睦	7月16日	地域住民	約900人	山小運動場
水泳講習会	水泳講習	7月25～29日	小学生	80人	山小プール
サリュ！ペタンク オープン大会	地域の親睦	8月27日	地域住民 愛好者	200人	芦屋学園高校 運動場
みんなで遊ぼう (ニュースポーツ体験)	ニュースポーツ の紹介	10月19日	山小児童	60人	山小運動場

餅もちフェスティバル 共催	地域の親睦	12月10日	地域住民	約900人	山小運動場
カコーリング大会	ニュースポーツの定着	H29.2月1日			
広報活動	幅広く地域住民にスポーツクラブをPR 参加呼びかけ	7月 3月	地域内 全域		

### 構成員とクラブ運営組織図概要



役 職	人数
会 長	1
副 会 長	1
総務部会長	1
事業部会長	1
研修部会長	1
広報部会長	1
会 計	1
監 査	2

## 収支決算書

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

朝日ヶ丘  
S C 2 1

## 1 収入の部

科目	決算額	摘要
助成金	(162,775円) 162,775円	市推進委員会事務局より
クラブ自主財源	(5,239,475円) 5,239,475円	前年度繰越金
会費	(300,000円) 276,500円	年会費 @1,000×269人 @500×15人(半年分) ※自主財源
雑収入	(20,000円) 13,400円	行事参加費 @100×134人 ※自主財源
利息	(1,000円) 451円	クラブ通帳利息 25円 定期利息 426円 基金通帳利息 0円 ※自主財源
合計	(5,723,250円) 5,692,601円	

## 2 支出の部

科目	決算額	摘要
運営拠点整備費	(100,000円) 84,888円	石灰代 他 50,000円(基金) 34,888円(自主)
スポーツ活動費	(200,000円) 499,640円	サッカーゴール オープンスクール 合宿費補助 他 100,000円(基金) 399,640円(自主)
事業費	(100,000円) 33,494円	ふれあいDAY 夏祭り協賛金 他 10,000円(基金) 23,494円(自主)
管理費	(100,000円) 79,306円	製版費 振込料 他 (自主)
保険費	(10,000円) 2,700円	イベント保険料 (自主)
会議費	(25,000円) 17,719円	総会・運営委員会費等 (自主)
その他経費	(50,000円) 100,400円	功労賞 他 (自主)
自主財源	(5,135,475円) 4,871,679円	クラブ通帳へ預金
基金	(2,775円) 2,775円	基金積立金
計	(5,723,250円) 5,692,601円	

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。

事業実績書

- 指定小学校区  
朝日ヶ丘小学校
- 活動拠点となったクラブハウス設置場所（連絡先〔TEL, FAX〕）  
朝日ヶ丘小学校
- スポーツ活動を行った施設名  
朝日ヶ丘小学校（校庭、体育館、ゆうゆうクラブ）朝日ヶ丘幼稚園
- 上記施設以外に連携した施設名  
朝日ヶ丘小学校205教室、ランチルーム、
- 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図  
添付書類参照
- クラブ設立年月日  
平成14年10月5日設立
- 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数 (時間数)	1回当たりの出席者数	開催場所	備考
39人	11回 (22時間)	24人	205教室 ランチルーム	

(検討した協議内容について、具体的に記入する。)  
ふれあいDAY、夏まつり、プール開放、普通救命講習会、オープンスクール、餅つき  
公式輪投げ、体育館のメンテナンス

- クラブ名、会員数（性別、年齢構成）及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数（性別、年齢構成）	活動種目
朝日ヶ丘SC21	人(男性 人、女性 人) ～10歳 74人 17人 ～20歳 32人 11人 ～30歳 2人 0人 ～40歳 12人 5人 ～50歳 9人 9人 ～60歳 5人 5人 61歳～ 17人 70人	少年サッカー、野球、ミニバスケットボール、ミニテニス、空手道、クォーターテニス、婦人健康体操、バドミントン、フラダンス・卓球

- 配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
別紙参照	人
	49人

- 実施した事業内容（事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。）

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
	別紙参照				

平成28年度 朝日ヶ丘スポーツクラブ21 登録団体

クラブ名	代表者名	種目
朝日ヶ丘チャレンジャーズ		少年軟式野球
サッカースクール		サッカー
クォーターテニスA		クォーターテニス
クォーターテニスB		クォーターテニス
W. テニス		クォーターテニス
なかよしミニテニス		クォーターテニス(子ども)
ファイトクラブ		クォーターテニス
バドミントンクラブ		バドミントン
朝日ヶ丘空手道教室		空手
ミニバスケットボールクラブ		バスケットボール
婦人健康体操クラブ		健康体操
卓球クラブ		卓球
オセチ・クラブ モハイ		フラダンス
団体計数 13クラブ		

平成28年度 配置する指導者の資格名と資格別人員数

指導者の資格	資格別人数	指導者の資格	資格別人数
軟式野球連盟審判員	1名	日本体育協会公認スポーツ指導員	1名
JFA公認3級公式審判員資格	2名	日本空手道糸洲会範士九段	1名
JFA公認4級公式審判員資格	7名	日本空手道糸洲会練士七段	1名
JFA公認C級指導者	1名	日本バスケットボール協会公認コーチ	1名
JFA公認D級指導者	1名	地域スポーツ指導員	1名
JFA公認キッズリーダー	2名	公認新体力テスト判定員	1名
公式審判員(バドミントン)	1名	公認障害者スポーツ指導員(初級)	1名
〃 (クォーターテニス)	1名	ジュニアスポーツ指導員	1名
芦屋市スポーツリーダー	5名	地元有志	19名
		合計	49名

## 平成28年度 事業報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

事業名及びクラブ名	実施日	活動内容	対象者	開催施設
熟中症講習会	4月23日	資料配布	地域住民	ランチルーム
ふれあいDAY	5月21日	5種目のスポーツゲーム 卓球体験など	地域住民	体育館 小学校グラウンド
朝小運動会	6月4日	サークル紹介	地域住民	小学校グラウンド
地域防災訓練	6月12日	合同訓練	地域住民	岩園小学校
普通救命講習会	6月24日	心肺蘇生法 AEDの使用法など	地域住民 15名	視聴覚教室
盆踊り練習会	7月15日	盆踊り練習	園児・保護者	幼稚園遊戯室
プール開放	7月20日	プール開放	地域住民 251名	市民プール
夏まつり	7月24日	ミニステージ・盆踊り ビンゴ大会・模擬店	地域住民	小学校グラウンド
もちつき大会	12月4日	3世代交流	地域住民	校舎中庭前
公式ワナゲ大会	1月28日	公式ワナゲ	地域住民 約30名	校舎中庭前
体育館清掃	3月29日	清掃	会員 24名	体育館
各サークル活動	毎週	専門種目の 年間定例活動	会員 286名	小学校グラウンド 体育館・幼稚園

上記以外に各サークルによるスポーツ教室、交流大会などが行なわれました。

## 【その他】

事業	実施日	内容	場所
スポーツクラブ21総会	4月23日	事業報告・決算報告 事業計画及び会計予算の承認	ランチルーム
広報紙配布	2回	イベント案内・情報・会員募集	全地域配布
役員会（定例幹事会）	毎月	イベント計画・報告 体育指導委員一ロメモ配布	会議室
全県スポーツ大会	6月25日	5×5ビンゴ大会に参加	伊丹市
合同部会	7月2日 9月3日	合同会議・会費徴収他	ランチルーム

以上、私たち朝日ヶ丘スポーツクラブ21は兵庫県の提唱するスポーツクラブ21ひょうご事業推進のためのガイドラインに沿って(1)事業趣旨(2)地域スポーツクラブの目標像(3)既存活動組織との連携(4)県財政支援(5)設置スケジュール(6)推進体制(7)地域スポーツクラブの啓蒙PR等の各項を理解し健全なる運営を行い上記の事業を積極的に推進する。



平成28年度収支決算書

SC21  
打出浜

1 収入の部 (クラブ名: スポーツクラブ21打出浜)

科 目	決 算 額	摘 要
補助金	( 0 円) 0 円	25年度終了の為
前年度繰越金	( 2,540,805 ) 2,540,805	
会 費	( 250,000 ) 261,000	会費1,00円×253名+8名
イベント参加料	( 100,000 ) 0	ファンラン雨天中止
利 息	( 300 ) 29	預金利息
雑 収 入	( 30,000 ) 50,250	物販売上・テント貸出
合 計	( 2,921,105 ) 2,852,084	

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
スポーツ活動費	( 300,000 円) 93,060 円	サッカーゴール・ラインバウダー他
事 業 費	( 300,000 ) 167,511	ファンラン・護身術
広報活動費	( 30,000 ) 8,035	印刷機インク・用紙他
会 議 費	( 35,000 ) 36,000	新年互礼会・打ち合わせ等経費
事務管理費	( 30,000 ) 36,241	文具・消耗品他
整 備 費	( 100,000 ) 0	グラウンド整備(上購入)
雑 費	( 3,000 ) 1,728	振込・ゴミ処理費他
次年度繰越金	( 2,123,105 ) 2,509,509	
計	( 2,921,105 ) 2,852,084	

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。  
・申請内容を上段に( )書き、実績を下段に記入する。

## 事業実績書

- 1 指定小学校区  
芦屋市立打出浜小学校区
- 2 活動拠点となるクラブハウス設置場所（連絡先〔TEL, FAX〕）  
芦屋市新浜町8番2号
- 3 スポーツ活動を行う施設名  
打出浜小学校体育館・運動場
- 4 上記施設以外に連携する施設名  
兵庫県立海洋体育館・
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要  
運営組織図 別途添付
- 6 設立年月日  
平成14年10月26日
- 7 クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項	内容等
毎月1回	幹事会	活動企画等の承認
〃	事務局会議	事業の企画立案
年4回	広報委員会	広報紙作成
適宜	事業・研修会	地域事業・研修会等の企画

- 8 クラブ名、会員予定人数（性別、年齢構成）及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数（性別、年齢構成）			活動種目
スポーツクラブ 21打出浜 クラブ数14	261名（男性172名 女性89名）			・野球・少年サッカー ・成人サッカー・剣道 ・ソフトバレー・空手 ・卓球・カヌー ・ミニバドミントン ・成人バドミントン ・ミニバスケット ・健康体操 ・クオーターテニス ・グリーンC（バレー）
	～10歳	77	20	
	～20歳	51	15	
	～30歳	1	0	
	～40歳	2	5	
	～50歳	17	11	
	～60歳	11	13	
	61歳～	13	25	

- 9 配置する指導者の資格名と資格別人数

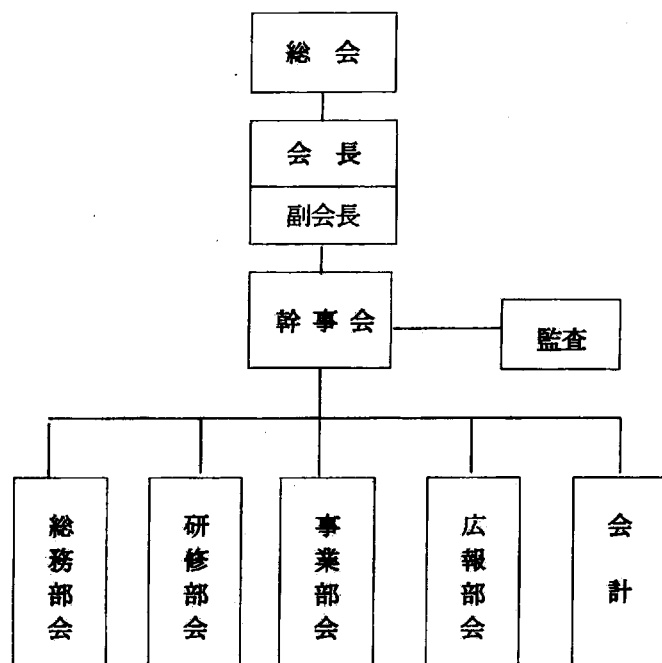
指導者の資格名	資格別人数
公認資格者	34 人
地元有志	20 人

- 10 実施を予定する事業内容（事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。）

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
総会	役員決定 年間行事決定 予算決定	H28年5月14日	運営委員 新・旧	60名 新・旧	クラブハウス
各クラブ活動	週1回以上 練習等実施 、スポーツ の特性を学 び技術の向 上を図る	毎月の施設使用 申請書にもとづ く	登録者	261名	運動場 体育館 クラブハウス
救命救急 講習会	アクシデント に対する 基礎知識の 体得	H28年7月9日	登録者	19名	視聴覚室

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
芦屋ドラゴン ボートレース に参加	違うスポー ツを通じて 団結力を養 う	H28年7月31日	小学生ク ラブチー ム	20人	芦屋キャナ ルパーク
打出浜コミス ク秋まつり 共催	スポーツに 親しみを持 つよう出店 フリースロ ーゲーム	H28年10月29日	地域住民	240名	体育館
打出浜ファン ラン2016	地域住民が 持続的にス ポーツに関 わるきっか け作り	H28年11月27日  雨天中止	地域住民	0	運動場～芦 屋市マラソ ンコース
コミスク三世 代交流スポー ツ大会（知行 大会）に共 催	地域住民三 世代がニュー ースポーツ を通して交 流を図る	H29年1月14日	地域住民	約120名	体育館
新年互例会	各クラブと 地域役員の 親睦会	H29年1月14日	指導者・ 幹事・自 治会役員	36名	ふぁみりー れすとらん おとわ
スポーツクラ ブ21・コミス ク活動展	各クラブ活 動を紙面に 展示紹介	H29年2月2日 ～2月4日	各クラブ	17登録団 体	体育館・通 路の壁

5. スポーツクラブ21打出浜 運営組織図



平成28年度 役員名簿

役職	氏名	住所	電話	所属
会長				芦屋市カヌークラブ
副会長				打出浜FC
副会長				打出浜小学校教頭
会計				卓球
会計				剣道
総務部部长				健康体操
広報部部长				打出浜FC
研修部部长				バドミントン
事業部部长				健康体操
監査				前会計
監査				元会計

# 岩園 S C 2 1

平成28年度 岩園スポーツクラブ21

## 収 支 決 算 書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

### 1 収入の部

科 目	決 算 額	摘 要
助 成 金	( 5,533,134 円 ) 5,533,134 円	市推進委員会事務局より
自主財源積立金	( 4,007,836 円 ) 4,007,836 円	前年度積立金残
会 費	( 190,000 円 ) 217,400 円	【内訳】 年会費：@200 円×508 人 活動拠点維持費：@300 円×386 人
雑 収 入	( 100,000 円 ) 168,592 円	【内訳】 講座参加費=142,600 円 広報広告料= 20,000 円 印刷機使用料=5,992 円
銀 行 利 息	( 0 円 ) 102 円	【内訳】 基金預金利息= 53 円 クラブ運営預金利息=15 円 自主財源積立金利息=34 円
計	( 9,830,970 円 ) 9,927,064 円	

### 2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
運 営 拠 点 整 備 費	( 1,000,000 円 ) 0 円	
ス ポ ー ツ 用 品 購 入 ・ 修 理 費	( 500,000 円 ) 11,920 円	マット
事 業 費	( 230,000 円 ) 128,001 円	水泳教室、三世代交流スポーツ大会 等 (自主財源からの支出額： 行事保険代金 9,000 円)
運 営 費	( 50,000 円 ) 24,044 円	事務・会議費、通信費 等 (自主財源からの支出額： 県連絡協議会への会費 1,000 円)
広 報 活 動 費	( 70,000 円 ) 59,966 円	広報紙(6,000部/1回)を発行2回、 記録写真 等
基 金	( 7,980,970 円 ) 9,703,133 円	基金積立：5,319,203 円 + 本年度自主財源積立：4,383,930 円
計	( 9,830,970 円 ) 9,927,064 円	

- (注)・収支の計は、それぞれ一致する。  
・申請内容を上段に( )書き、実績を下段に記入する。  
・科目は、収支予算書と一致する

## 岩園スポーツクラブ 21

### 事業報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 指定小学校区 芦屋市立岩園小学校

2 活動拠点となったクラブハウス設置場所 (連絡先 [Tel, Fax])

芦屋市立岩園小学校 敷地内

[住所] 芦屋市岩園町23-41

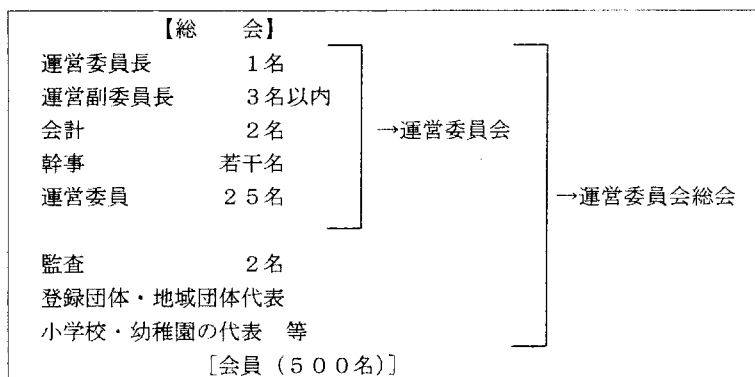
3 スポーツ活動を行った施設名とその概要

岩園小学校 グラウンド 及び 体育館

4 上記以外の他の連携する施設名

芦屋市立岩園幼稚園

5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織概要



6 クラブ設立年月日 平成14年11月21日

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催日数	1回当たりの出席者数	開催場所	備考
50名	12回(2時間)	40名	スポーツクラブ ハウス	

協議内容 ー 活動推進のための話し合い

※ 上記の定例会議以外に、定例役員会 毎月1回  
各事業に伴う企画・運営委員会 等  
啓蒙・啓発の広報作成会議 等

8 クラブ名 等

クラブ名	クラブ会員数 (性別、年齢構成)		種 目 名	
	男	女		
岩園スポーツ クラブ21	0才～10才	144	88	テニス・健康体操・剣道・卓球・空手・少年少女サッカー・少年少女野球・婦人バレーボール・バスケットボール・ミニバスケットボール・クォーターテニス・日舞・囲碁・ダンス・(水泳)
	11才～20才	52	9	
	21才～30才	2	2	
	31才～40才	8	14	
	41才～50才	14	40	
	51才～60才	14	30	
	61才以上	47	44	
総数	(男) 281名 +	(女) 227名 =	508名	

9 配置した指導者の資格と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
日本体育協会公認A級指導員	1名
日本体操協会公認体操マスター指導員	1名
公認体力テスト判定員	1名
芦屋市スポーツリーダー	1名
剣道範士 8段	1名
剣道教士 7段	1名
剣道錬士 7段	2名

全日本空手道 松剛館公認指導員	3名
日本サッカー協会公認C級指導員	3名
兵庫県サッカー協会3級審判員	3名
兵庫県サッカー協会4級審判員	3名
日本体育協会公認B級指導員(バレーボール)	1名
兵庫県家庭婦人バレーボール認定審判員	6名
地元有志	20名

10 実施した事業内容

実施事業名	目的及び開催回数・日数	対象者(参加人数)	開催施設
<b>専門種目のサークル活動</b> ・テニス ・健康体操 ・剣道 ・卓球 ・空手 ・サッカー ・少年少女野球 ・婦人バレーボール ・バスケットボール ・ミニバスケットボール ・クォーターテニス ・日舞 ・囲碁 ・ダンス	<b>専門種目の年間定例活動</b> (サークルにより週1~3回)	<b>会員(386名)</b>	<b>岩小グランド</b> <b>岩小体育館</b> ミーティング室 コミスク室 (クラブハウス)
<b>オープン・スクール</b>	<b>専門種目の一日体験入門講座</b> (各サークル年1~2回開催)	<b>地域住民</b> (延べ80名)	〃
<b>救急蘇生法講習会</b>	<b>AEDについて・熱中症対策、</b> <b>やけど、水の事故等についての</b> <b>講習会</b> (H28.6.27) 岩園小学校PTAと共催	<b>大人(50名)</b>	<b>クラブハウス</b>

<b>夏休みプール開放</b> 昨年度2日間雨天中止 となったため、今年度は予備日を設けていたの で、26日雨天中止となり ましたが3日間実施す ることが出来ました。	<b>〇小学生水泳教室</b> (H27.7.27~29) 要事前申込、初心者対象、3日 間の泳力別少人数グループの 水泳教室 <b>〇サークル開放(ミニバス)</b> (H28.7.23)	1日あたり： 小学生会員 (67名) +指導者・地域協力 者(30名) 子ども(30名) 大人(29名)	<b>岩小プール</b>
<b>いわぞの秋祭り</b>	・ステージでのサークルパフォーマンス等 多くの地域住民が集う機会にSC21活動 のPRとスポーツ体験コーナー開設 (H28.10.23) 地域住民(1,000名)		<b>岩小校庭、</b>
<b>三世交代交流スポーツ大会</b> 『みんなで一緒に 風船バレー』	<b>多世代交流を目的とした</b> <b>スポーツ大会</b> 多世代で楽しめる風船バレーを通して、 スポーツをする楽しさを実感してもら うと共に、SC21活動を知ってもらう機 会として実施	<b>会員と地域住民</b> <b>(100名)</b>	<b>岩小体育館</b>
<b>ふれあい広場</b> <b>いわぞの活動展</b> <b>公式ワナゲ体験会</b>	『岩園SC21』活動の発表 と啓蒙(H29.1/26~/28) 『活動展』開催時に、 公式ワナゲ体験会開催 (市民大会にエントリー) (H29.1.28)	<b>会員</b> <b>地域住民</b>	<b>校舎2F</b> <b>ラウンジ</b> <b>テラス</b>
<b>1.17は忘れない</b> <b>地域防災訓練</b>	<b>小学校と地域が連携しての</b> <b>防災訓練</b> (H29.2.11.)	<b>地域住民</b> <b>(180名)</b>	<b>校区及び</b> <b>岩小ラウン</b> <b>ジ、図書室、</b> <b>和室</b>
<b>クリーン作戦</b>	<b>いつも使用している学校施</b> <b>設を一斉清掃</b> <b>(H29.2.25)</b> —この日以外にもサーク ルが輪番制で校庭と体育館のトイレ掃除 を実施	<b>会員を中心に</b> <b>地域住民</b> <b>(子ども&amp;大人180名)</b>	<b>体育館棟及び</b> <b>校舎開放ゾーン</b>
<b>広報活動</b>	<b>〇『岩園SC21』活動の理解と啓蒙を目指し、</b> <b>H28年7月とH29年3月に広報紙発行</b> <b>地域全世帯(6,000部)に配布</b> <b>〇行事毎に、ご案内チラシ・ポスターを作成し配布、貼付</b>		

## 収支決算書

SC21  
精道

1 収入の部 クラブ名 (SC21 精道)

科 目	決 算 額	摘 要
助成金	( 4,662,369 円) 4,662,369 円	市推進委員会事務局より
クラブ財源金	( 1,862,845 ) 1,862,845	クラブ自主財源繰越金
年会費	( 60,000 ) 48,200	200円×233人分
活動費	( 30,000 ) 23,600	バドミントン教室等
使用料	( 100,000 ) 77,437	印刷機使用料
雑収入	( 5,000 ) 1,448	預金利息
計	( 6,720,214 ) 6,675,899	

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
拠点整備費	( 100,000 円) 0 円	* 自主財源 0円
運営費	( 320,000 ) 108,481	* 自主財源 6,054円 3世代交流スポーツ大会、オープンスクール等
備品費	( 300,000 ) 41,440	* 自主財源 0円 カメラ、テント
諸謝金	( 300,000 ) 16,500	* 自主財源 0円
事務管理費	( 170,000 ) 11,894	* 自主財源6,812円
消耗品費	( 110,000 ) 84,255	* 自主財源 0円 事務消耗品
印刷製本費	( 150,000 ) 98,528	* 自主財源 0円 印刷費
自主財源	( 2,007,845 ) 2,000,664	次年度繰越金
基金	( 3,262,369 ) 4,314,137	次年度繰越金
計	( 6,720,214 ) 6,675,899	

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。  
・申請内容を上段に( )書き、実績を下段に記入する。

別紙（第12・第13条関係）

**スポーツクラブ21精道  
事業実績報告書**  
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

- 1 指定小学校区  
芦屋市立精道小学校区
- 2 活動拠点となったクラブハウス設置場所  
芦屋市精道町8-25 芦屋市立精道小学校内  
精道コミュニティースクール・スポーツクラブ21 事務室
- 3 スポーツ活動を行った施設名  
精道小学校 グランド及び体育館
- 4 上記施設以外の他の連携した施設名  
なし
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図  
スポーツクラブ21精道

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;">会長</td><td style="width: 50%;">1人</td></tr> <tr><td>副会長</td><td>1人</td></tr> <tr><td>会計</td><td>2人</td></tr> <tr><td>理事</td><td>6人</td></tr> <tr><td>監事</td><td>2人</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">(役員会)</td></tr> </table>	会長	1人	副会長	1人	会計	2人	理事	6人	監事	2人	(役員会)		<p>登録団体 団体9 (241人)</p> <p>個人会員 (3人)</p> <p>(代議員総会)</p>
会長	1人												
副会長	1人												
会計	2人												
理事	6人												
監事	2人												
(役員会)													

244人（28年度会員）

- 6 クラブ設立年月日  
平成15年11月6日（設立総会 平成16年1月31日）

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数 (時間数)	1回当たりの出席者数	開催場所	備考
12人	10回 (13時間)	10人	精道小学校内コムスク・スポーツクラブ21 事務室	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成28年度実施事業の内容検討（オープンスクール・三世代交流スポーツ大会・その他）</li> <li>・ スポーツクラブ21 精道の運営方針の検討</li> <li>・ 平成29年度総会準備</li> </ul>				

8 クラブ名、会員数（性別、年齢構成）及び活動した種目

ク ラ ブ 名	クラブ会員数（性別、年齢構成）	活 動 種 目
スポーツクラブ21 精道 (愛称：ブルーパイン)	244人 (男163人 女81人)	野球・サッカー・バレーボール・バドミントン・なわとび・健康体操・バスケットボール・空手・ダーツ(休会中)
	～10歳 55人 8人	
	～20歳 51人 13人	
	～30歳 12人 5人	
	～40歳 9人 16人	
	～50歳 12人 10人	
	～60歳 8人 12人	
61歳以上 16人 17人		

9 配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
全日本軟式野球連盟審判員2級	1人
日本サッカー協会C級コーチ	2人
日本サッカー協会D級コーチ	4人
日本サッカー協会3級審判員	2人
日本サッカー協会4級審判員	3人
兵庫県バレーボール連盟B級審判員	6人
日本バドミントン協会公認3級審判員	2人
国際なわとび競技連盟 国際審判員	2人
国際なわとび競技連盟公認審判員	4人



10 実施した事業内容

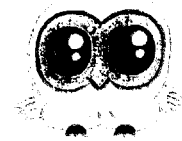
実施事業名	ねらい等	開催回数 日数	対象者	参加 人数	開催 施設
三世代交流スポーツ大会	高齢者から子どもまでが楽しめるスポーツで多世代の交流と親睦を図り、地域でのスポーツ活動への参加機会の創設と啓発を図る。	平成28年11月2日 クロリィティー大会	会員 地域住民	48人	小学校 体育館
オープン スクール	スポーツ活動に誰もが気軽に参加し、身体を動かすことの楽しさを見つけ、スポーツを通じたコミュニケーションを通して地域の活性化を図る。	平成28年7月6日 盆踊り講習会	小学生 地域住民	100人	体育館
		平成28年12月3日 空手体験教室	会員 地域住民	9人	体育館
専門部活動	各種目別の各専門部のスポーツ活動を定期的に行い、専門知識の向上と技術の向上を図り、併せて相互の親睦を深める。各種の大会等に参加する。	野球 2・4土、日	小学生	27人	運動場
		サッカー1・3・5土、日	小学生	83人	運動場
		バドミントン 日	地域住民	30人	体育館
		バレーボール火・木・土	成人	19人	体育館
		なわとび 火・木	地域住民	31人	体育館
		健康体操（ヘルス） 水	成人	12人	体育館
		バスケットボール木・土	成人	10人	体育館
		空手 月	地域住民	20人	体育館
スポーツ 教室の開催	初めてのスポーツに取り組みたい人を対象とした初心者教室を開催した。	初めてのの方のためのバドミントン教室（計4回）（戸塚市バドミントン協会と共催） 平成28年11月5日 19日・26日・12月3日	地域住民	12人	体育館
		空手教室 12月5日～14日	地域住民	1人	体育館

コミスク活動への協賛	スポーツクラブ21精道の母体となる精道コミスクの事業に協賛・参加し、スポーツクラブの広報、啓発を図る。	平成28年8月27日 夏祭り	地域住民	1000人	運動場
		平成29年3月18日 精道フェスティバル	地域住民	400人	体育館
広報活動	年2回スポーツクラブ21精道の広報誌を作成し、精道小学校校区内の全家庭に配布し、スポーツクラブの周知を図る。	平成28年7月 平成29年3月	地域住民	約5500 世帯	

11 その他

スポーツクラブ21の愛称 「ブルーパイン」

スポーツクラブ21のマスコット



（名前） 福ちゃん

# 浜風 S C 2 1

別 記 (準用)

## 収 支 決 算 書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 収入の部 クラブ名 (浜風スポーツクラブ21)

科 目	決 算 額	摘 要
基 金	( 1,285,089 円 ) 1,285,089 円	前年度繰越金
自 主 財 源	( 513,260 ) 513,260	前年度繰越金
会 費	( 40,000 ) 38,800	200円×194人
傷 害 保 険	( 0 ) 0	
利 息	( 400 ) 18	①基金通帳(5) ②クラブ通帳(7) ③自主財源(6)
計	( 1,838,749 ) 1,837,167	

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
運営拠点整備費	( 200,000 円 ) 0 円	冷蔵庫 換気扇修理 合鍵
運 営 費	( 200,000 ) 53,978	交流会、プール開放、ラジオ体操、どんど焼き 駅伝大会、試合参加費補助(市の基準に準ずる)
備 品 費	( 350,000 ) 6,789	バスケットゴール用ネット コンセント
諸 謝 金	( 50,000 ) 35,000	護身術講師料、プール監視員謝金
事務管理費	( 50,000 ) 2,434	事務用品、振込手数料
消耗品費	( 50,000 ) 4,320	キッチン用品(タオル ふきん 洗剤など) トイレトーパー
印刷製本費	( 200,000 ) 92,014	広報紙、用紙代、トナー、インク代
	( )	
自 主 財 源	( 553,660 ) 552,078	自主財源積立金(次期繰越金)
基 金	( 185,089 ) 1,090,554	基金積立金(次期繰越金)
計	( 1,838,749 ) 1,837,167	次期繰越金合計 1,642,632円

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。  
・申請内容を上段に ( ) 書き、実績を下段に記入する。

事業実績書

10 実施した事業内容（事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。）

- 1 指定小学校区  
芦屋市立浜風小学校区
- 2 活動拠点となったクラブハウス設置場所（連絡先〔TEL、FAX〕）  
芦屋市立浜風小学校内
- 3 スポーツ活動を行った施設名  
浜風小学校運動場、体育館、会議室  
更衣室 プール
- 4 上記施設以外に連携した施設名  
芦屋市立体育館 新浜公園 芦屋市総合公園
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図  
会長 1名 副会長 3名 会計 2名  
理事 各所属団体より1名以上 監事 若干名  
上記のメンバーで 理事会を構成
- 6 クラブ設立年月日  
平成15年12月18日

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数 (時間数)	1回当たりの出席者数	開催場所	備考
	12回(月1回) (各1~2時間)	15人	浜風小学校 会議室	

(検討した協議内容について、具体的に記入する。)  
所属団体の情報交換、施設使用調整、行事の企画・運営など

8 クラブ名、会員数(性別、年齢構成)及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	活動種目
浜風スポーツクラブ21	194人(男性110人、女性84人) ~10歳 46人 15人 ~20歳 2人 1人 ~30歳 7人 6人 ~40歳 19人 11人 ~50歳 7人 15人 ~60歳 16人 18人 61歳~ 13人 18人	少年少女軟式野球 気功 成人ソフトボール ママさんバレーボール 少年少女サッカー スポンジボールテニス ミニバスケットボール フットサル 空手 カローリング

9 配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
サッカーC級ライセンス	1人
サッカー審判4級	7
フットサル審判3級	2
兵庫県ソフトボール協会指導員	1
少林寺流空手道連盟錬心士6段教士	1
同 2段指導員	1
剛心流空手道松剛館本部指導室2段	1
同 4段	1
日本健身気功協会指導員	1
県公認バレーボール審判員	4
地域指導員	30

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
各クラブ活動	スポーツ活動	週1日~4日	会員	約200人	浜風小学校 グラウンド、 体育館 他
各クラブ体験教室	スポーツ活動の体験	随時	地域住民 浜風小学校 児童など		浜風小学校 グラウンド、 体育館 他
交流スポーツ大会 (ウォークラリーと風船バレーの普及公式ワナゲ)	地域交流 ニュースポーツの普及	4月23日	地域住民	約300人	浜風小学校 グラウンド、 体育館
ふれあいプール開放(小学校幼稚園 幼小PTA共催)	地域交流	7月21日 22日 25日	地域住民	延べ600人	浜風小学校 プール
ラジオ体操	地域交流 早起き促進 健康増進	7月21日~31日	地域住民	延べ1000人	浜風小学校 グラウンド
浜風小学校の一斉清掃・草ぬき	清掃	9月3日	会員	120人	浜風小学校 グラウンド、 体育館
芦屋ファンチャーカーニバル 芦屋浜夏祭り ドラゴンボート 芦屋浜健康フェスタ	地域行事に参加協力	4月10日 7月23日 7月30日 7月31日 10月16日	地域住民		芦屋浜 総合公園 中央公園 南芦屋浜水路 潮見中学校
護身術講習会	護身術体験	10月23日	地域住民	50人	浜風小学校 体育館
(この指とまれ)走り方 ボールの投げ方	スポーツ推進委員による体を使った外遊びの指導・体験	6月15日 7月13日 11月9日・28日 12月7日	地域児童	延べ100人	浜風小学校 グラウンド
どんど焼きと公式ワナゲ	地域交流とニュースポーツ紹介	1月14日	地域住民	延べ600人	浜風小学校 グラウンド 体育館
浜風フェスタ	防災訓練とハロウィン	10月22日	地域住民	約200人	浜風小学校 体育館
広報紙発行	広報活動	年2回 66号・67号	地域住民	3300部	浜風小学校区 全戸配布

## 平成29年度 予算書・事業計画書

- 1.平成29年度予算書（9クラブ分）
- 2.平成29年度事業計画書（9クラブ分）

# 三条 S C 2 1

別記(準用)

クラブ名:三条スポーツクラブ21

## 収支予算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(円)

### 1 収入の部

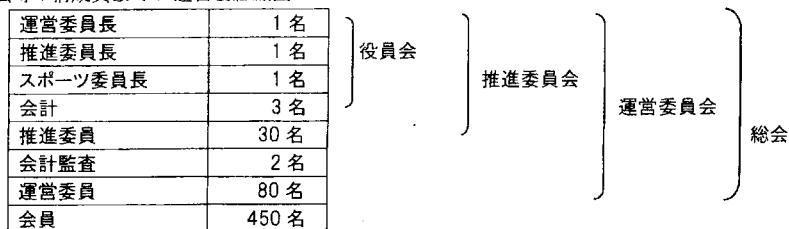
科目	予算額	摘要
助成金	1,720,938	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 1,720,938円)
クラブ積立金	585,569	※自主財源
会費	50,000	※自主財源
雑収入	10,000	※自主財源
利息	100	※自主財源 (基金通帳利息、クラブ通帳利息)
計	2,366,607	(左金額内の自主財源額 645,669円)

### 2 支出の部

科目	予算額	摘要
運営拠点整備費	50,000	管理備品費等
スポーツ用品購入費	50,000	ラインパウダー、スポーツ用品等
運営費	190,000	ラジオ体操、夏の夜のつどい、運動会等 ※自主財源(40,000円)を含む
管理費	5,000	光熱費等
事務・消耗品費	45,000	印刷用紙代、インク代等
分担金	1,000	スポーツ21連絡協議会年会費 ※自主財源
傷害保険料	20,000	※自主財源
基金	1,420,938	
クラブ積立金	584,669	※自主財源
計	2,366,607	

# 三条スポーツクラブ 21 平成 29 年度 事業 計画 書

- 1 指定小学校区 芦屋市三条コミュニティスクール地域（旧芦屋市立三条小学校区）約 3,200 世帯
- 2 活動拠点クラブハウス設置場所 芦屋市立山手学校第 2 グラウンド内(旧三条小学校敷地)
- 3 スポーツ活動を行う施設とその概要 芦屋市立山手中学校第 2 グラウンド(6 月末まで)・第 2 体育館
- 4 上記以外の他の連携した施設名 芦屋市立山手中学校第 1 グラウンド、芦屋市立三条地区集会所
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営委組織図



- 6 クラブ設立年月日  
昭和 53 年 9 月 三条コミュニティスクール発足  
平成 13 年 3 月 スポーツクラブ 21 設立

### 7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	使用会場名	備考
100 名	芦屋市役所三条分室2階 三条コミスクプレイルーム	運営委員会
30 名	芦屋市役所三条分室2階 三条コミスク会議室	推進委員会
年間事業計画、予算、会員募集、事業実行委員会、施設利用日程調整		

### 8 クラブ名等

クラブ名	会員数(性別、年齢構成)			種目
	460人	男207(人)	女253(人)	
三条スポーツクラブ21	～10歳	90	85	・少年野球 ・バレーボール ・卓球
	～20歳	40	40	・健康体操 ・硬式テニス
	～30歳	2	1	
	～40歳	25	35	・ウォーキング
	～50歳	10	13	・公式ワナゲ
	～60歳	10	15	・ラジオ体操
	61歳以上	30	64	・民謡踊り

### 9 配置予定の指導者の資格名と資格別人数

スポーツ推進委員(日本体育協会スポーツリーダー、体力測定判定員等) 2名、兵庫県軟式少年野球審判員 6名、公認スポーツ指導員(健康体操)・中学校保健体育教諭資格 1名、
--

### 10 実施予定事業内容

実施事業名	ねらい等	回数、日数	対象者	参加人数	開催施設
少年野球	定期的練習	毎週 土・日	三條スポーツ クラブ 21 会 員	36 名	第 2 グラウンド
卓球	及び	毎週 土曜日		30 名	第 2 体育館
健康体操	スポーツの普及	月 2 回 水曜日		26 名	三条地区集会所
硬式テニス	(生涯スポーツの普及)	毎週 日曜日		20 名	第 2 グラウンド
バレーボール		毎週 土曜日		20 名	第 2 体育館
公式ワナゲ大会	地域交流 多世代交流	未定	三條スポーツ クラブ 21	30 名	プレイルーム・集会所
ラジオ体操		夏休みに実施	会員	1 日平均 100 名	地域内 4 会場
民謡踊り		7・8 月 2 回	会員	50 名	三条地区集会所
第 38 回運動会		11 月 3 日	および	400 名	場所未定
初日の出ウォーキング		1 月 1 日	地域住民	50 名	地域内
広報活動	活動報告・部員募集	年 2 回	コミスク合同展、山手小学校校展覧会併設	コミスク活動展	
	行事告知・活動報告	年 4 回	広報紙 地域配布	3,200 世帯	

☆活動拠点の山手中学校第 2 グラウンドに、中学校新校舎建て替えの為、7 月以降の硬式テニス、少年野球等の活動場所、運動会開催場所が確保されない状況です。

# S C 2 1 潮見

別記(準用)

(クラブ名) スポーツクラブ21潮見

## 収支予算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

### 1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	2,080,167	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 2,080,167 円)
クラブ財源金	1,589,580	※自主財源 (前年度繰越金 1,589,580円)
年会費	87,500	成人 500円×100=50,000 こども 250円×150=37,500
イベント参加費	30,000	行事参加費用(自主財源)
雑収入	50,000	事業収益金(自主財源)
利息	100	銀行利息(自主財源)基金・クラブ
計	3,837,347	(左金額内の自主財源額 1,757,180 円)

### 2 支出の部

科目	予算額	摘要
運動拠点整備費	300,000	管理備品費
消耗品費	50,000	事務用品費用・印刷機マスター、トナー代
諸謝金	30,000	講師謝金
事業費	80,000	スポーツ活動・講習会開催費用 (自主財源より40,000円)
雑費	10,000	振込手数料 他
通信運搬費	40,000	会員の連絡・運搬費
会議費	10,000	総会・連絡協議会費用
保険料	20,000	スポーツ傷害保険
基金	1,580,167	平成29年度への繰越金
クラブ積立金	1,717,180	平成29年度への繰越金
計	3,837,347	

## 事業計画書(29年度)

### 1. 指定小学校区とその概要(芦屋市立潮見小学校区)

当校区は、兵庫県企業庁が昭和50年代はじめに芦屋浜を埋め立て、開発した「芦屋浜シーサイドタウン」の宮川以西及び南芦屋浜の新興住宅地である。

高層住宅、中層住宅、低層連続住宅、独立住宅が昭和54年から入居以来関係住民が精力的に活動し、加えて昭和56年にコミュニティ・スクールが設置されスポーツや文化活動を通じて比較的まとまりのある校区である。

スポーツ活動は団地開設当時から活発で、野球、少年野球、空手等があり、その後コミュニティ・スクールが設置されたこともあり少年サッカー、ミニバスケット、成人サッカー、などが小学校のグラウンドや体育館を中心に活動している。特に、少年野球、少年サッカー、ミニバスケットは芦屋市代表として県大会、近畿大会、全国大会に出場した経歴を有している。

また、当クラブは、スポーツを通じて「多世代の地域住民が交流を図る」「青少年の健全育成を図る」「心身ともに健康で明るい地域社会を目指す」を理念とし、子どもから大人まで地域住民の視点を深めるのに大いに貢献している。

### 2. 活動拠点となるクラブハウス設置場所(連絡先【TEL, FAX】)

芦屋市立潮見小学校 南校舎 3階 芦屋市潮見町1番2号 電話・FAXは未設置

### 3. スポーツ活動を行う施設名とその概要

小学校グラウンド及び体育館

### 4. 上記施設以外の他の連携する施設名

該当なし

### 5. 運営委員会の構成員とクラブ運営組織図及びクラブ設立年月日

構成員(別紙) 平成13年6月3日(クラブ設立年月日)

### 6. クラブ育成に向けての年間計画概要(一覧表にて作成)

実施時期	事項	内容等
平成29年5月25日	年次総会	事業、決算報告、新年度事業計画、予算案の審議・役員を選出等
毎月第3木曜日	幹事会	クラブ報告、事業計画等の打合せ
年間2回	広報委員会	広報活動の打合せ
随時開催	事業委員会	各事業の企画立案
平成29年4・5月	オープンスクール	各クラブによる体験教室を実施
平成29年7月	ラジオ体操	健康維持
平成29年11月	実技研修会	体力向上と健康維持のための講習
平成29年2月	スポーツ交流会	スポーツ参加意識向上への内容
その他 7月30日 10月16日	ドラゴンボート大会 健康フェスタ	市民交流スポーツ大会への積極的参加

### 7. クラブ会員予定人数(性別、年齢構成)及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	予定する種目
シーサイド若葉	19~65才(男子) 21	野 球
潮見スターズ 指導者	7~12才(男女) 20 10	少年野球
たんぽぽ(卓球)	40~70才(男女) 10	卓 球
潮見ミニバスケットクラブ 指導者	7~12才(男女) 30 4	バスケット
シーサイドバスケット	18~70才(女子) 12	バスケット
潮見少年サッカークラブ 指導者	5~12才(男子) 41 11	サッカー
潮見フットサルクラブ	20~40才(男子) 6	サッカー
少林寺流練心館空手 指導者	5~60才(男女) 11 (男子) 2	空 手
潮見バドミントンクラブ	20~70才(男女) 14	バドミントン
スポンジボールテニスクラブ	20~70才(男女) 19	スポンジテニス
潮見健康体操倶楽部 金管バンド 指導者	20才以上(女子) 休部 6~12才(男女) 19 4	健康体操全般 金管楽器演奏
アップル(Jr.英会話) 指導者	6~12才(男女) 休部 (男女)	英会話と遊び
和太鼓倶楽部 あしかぜ 指導者	40~80才(男女) 16 (男子) 1	和太鼓

### 8. 配置する指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数	指導者の資格名	資格別人数
兵庫県サッカー協会3級審判員	2名	兵庫県家庭婦人公認審判員	1名
兵庫県サッカー協会4級審判員	5名		
兵庫県サッカー協会B級審判員	2名	全日本空手道連盟6段	1名
兵庫県サッカー協会C級審判員	3名	全日本空手道連盟初段	6名
フットサル審判4級	4名	教員免許	9名
全国軟式野球連盟公認審判員	2名		
全国軟式野球連盟審判員A級	6名	その他地元有志	数名



2017年度スポーツクラブ21潮見 運営委員会組織表

2017年4月1日～2018年3月31日

9. 実施を予定する事業内容(事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入。)

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
シーサイド若葉		週1回			
潮見スターズ	毎週1回以上定期的に練習を行い、専門的知識の向上と技術の向上を図り、併せて相互の親睦を深める。	週3回	登録者 全員	会員及びビジター	小学校の体育館・グラウンド
たんぼほ		週1回			
潮見ミニバスケット		週3回			
シーサイドバスケット		週1回			
潮見少年サッカー		週3回			
潮見フットサル		週1回			
空手クラブ		週2回			
潮見バドミントンクラブ		週2回			
スポンジテニス		週2回			
潮見健康体操倶楽部		休部中			
あっふる	スポーツと文化的活動も含め、スポーツクラブ推進を図る。	週1回			
金管バンド		週2回			
和太鼓倶楽部あしかぜ		月2回			
地域交流スポーツ大会	年2回 地域全住民を対象として親睦と健康増進	年2回	全住民	300名	グラウンド
各種目別にオープンスクールを開催	会員増強につなげるため	年複数回			

役職	氏名	所属	電話 & FAX
会長		和太鼓	
副会長		バドミントン	
〃		成人野球	
会計		ミニバスケット	
〃		〃	
会計監査		少年野球	
〃		〃	
相談役		卓球	
〃		PTA	
顧問		潮見小学校	
		〃	
総務		バドミントン	
〃		バスケット	
〃		バドミントン	
広報		少年サッカー	
〃		〃	
〃		〃	
〃		金管バンド	
		〃	

# SC21 宮川

平成29年度 会計予算案  
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(スポーツクラブ21宮川)

収入の部 [単位:円]

項目	予算額	摘要
前年度繰越金	178,631	
会費	170,000	170名 一人あたり年間1000円
備品・機材貸出料	10,000	照明・音響器具貸出料他
雑収入	20,000	印刷代他
合計	378,631	

支出の部 [単位:円]

項目	予算額	摘要
会議・事務費	20,000	用品代他
拠点整備費	20,000	什器・備品・消耗品代他
広報誌作成費	10,000	印刷代他
夏祭り費	20,000	備品代他
スポーツフェスティバル費	80,000	備品代他
文化祭費	10,000	備品代他
臨時事業費	10,000	特別事業代(コミスク35周年)他
対外活動費	10,000	参加活動代他
雑費	10,000	
修繕・維持費	160,000	修理代他
予備費	28,631	
合計	378,631	

# 事業計画書

## 1 指定小学校区とその概要

### 「芦屋市立宮川小学校区」

芦屋市立宮川小学校は本年で創立91周年を迎える伝統ある小学校である。その故に小学校区内の住民は宮川小学校の卒業生が多く、小学校に対する親しみも強く、また、古くから住んでいる人達が多く地域の連帯感がある。小学校区内の7つの町の自治会町内会も活性化しており、20年以上の歴史を持つコミュニティ・スクールへの参加率も高く各種の活動が活性化している地域である。  
地域的に利点があるのは小学校が小学校区の真中にあり、人々が集まりやすい事がある。

## 2 活動拠点となるクラブハウスの設置場所

### 「芦屋市立宮川小学校グラウンド南プール棟1階」

宮川小学校グラウンド南プール棟の1階は宮川コミュニティ・スクールのフロアーとして使用しているのでその一室を改造して「スポーツクラブ21 宮川」のクラブハウスとして使用する。

## 3 スポーツ活動を行う施設名とその概要

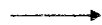
小学校体育館・グラウンド・コミスクフロアー

## 4 上記施設以外の他の連携する施設名

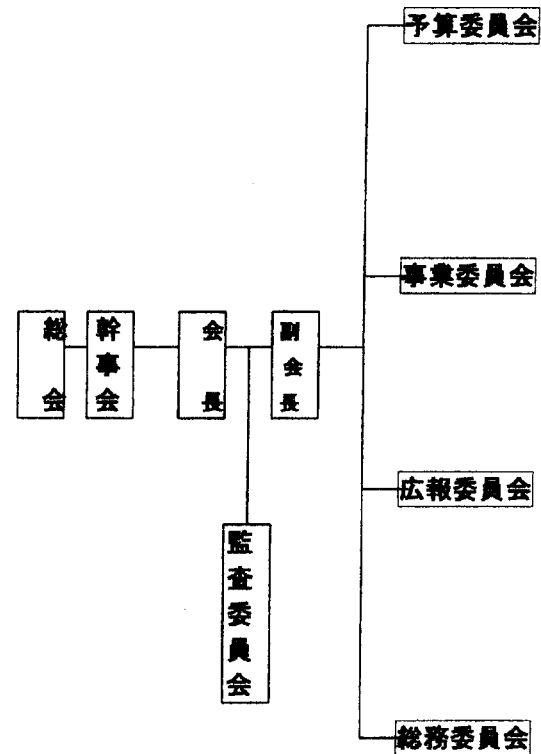
該当なし

## 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要

会長	1名
副会長	2名
役員	7名
幹事	8名



スポーツクラブ 21 宮川  
幹事会



## 6 クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項	内容
平成29年5月20日	総会	事業報告他総会議事
毎月第3土曜日	幹事会	各クラブ活動の現状把握及び事業立案
適時	役員会議	各種打ち合わせ

## 7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	一回あたり出席者数	開催場所
17名	11回	平均15名	宮川コミスク会議室
事業の企画立案・予算処置・企画実施打ち合わせ			

## 8 クラブ会員予定人数（性別・年齢構成）及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	予定する種目
宮川少年サッカースクール	62名(小学生 男子62名)	サッカー
宮川ミニバドミントンクラブ	15名(小学生 男子2名女子13名)	バドミントン
宮川バドミントン同好会	8名(15歳以上 男子2名女子6名)	バドミントン
宮川クラブ	14名(成人 女子14名)	バレーボール
ソフトバレーボールクラブ	14名(成人 女子14名)	ソフトバレーボール
宮川少年野球団	10名(小学生 男子10名)	野球
宮川ミニバスケットボール	15名(小学生 男子15名)	バスケットボール
宮川空手道教室	32名(成人5名 小学生 27名)	空手
8団体	170名	

## 9 配置する指導者の資格名と資格別人数

種目	指導者の資格	資格別人数
サッカー	地域有志	10名
野球	公認審判員	4名
	地域有志	10名
バスケット	公認審判員	3名
	地域有志	0名
バドミントン	公認審判員	2名
	地域有志	3名

## 10 実施を予定する事業内容

実施事業名	ねらい等	回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
夏祭り	地域活性化	年 1回	地域内 全員	650名	体育館 他
宮川国際スポーツ フェスティバル	4世代・国際 交流	年 1回	地域内 全員	550名	グラウンド
各クラブ活動	専門種目の 個別活動	週 1~2回	各会員	170名	全施設

別記（準用）

（クラブ名） スポーツクラブ21 YAMATE

収 支 予 算 書 （平成29年4月1日～平成30年3月31日）

1 収入の部 （単位：円）

科 目	予 算 額	摘 要
基 金	2,513,472	市推進委員会事務局より
自 主 財 源	4,733,916	（前年度基金残より）
会 費	200,000	※自主財源年 会費 500円×400人
運営拠点維持費	35,000	※自主財源 100円×350人
参 加 費	200,000	※自主財源
利 息	112	※自主財源 ①基金通帳利息 12円 ②クラブ通帳基金 100円
計	7,682,500	

2 支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
運 営 拠 点 整 備 費	100,000	管理備品費
スポーツ用品購入費	250,000	各種スポーツ用品費・修理費
報 奨 費	200,000	指導者謝金・交通費 等
運 営 費	200,000	イベント開催費用
傷 害 保 険 料 （役員・各種行事）	17,000	スポーツ保険
消 耗 品 費	100,000	スポーツ活動消耗品費 事務用品消耗品費 等
会 議 費	10,000	総会・運営委員会・協議会 等
クラブハウス維持費	25,000	光熱費・電話代 等
使用料・賃貸料	20,000	スポーツ施設・会議費・用品等 使用料
通 信 運 搬 費	10,000	会員連絡送料 等
印刷製本費	100,000	広報紙・会員証作成費 等
基 金	1,481,472	
自 主 財 源	5,169,028	
計	7,682,500	

SC21  
YAMATE

# 事業計画書

## 1. 芦屋市立山手小学校区

当校区は、芦屋市の中央北部に位置するが、2号線沿いから北は奥池まで広範囲の地域で、商業区域、住居区域を擁している。学校は、創立80年になる伝統校である。2000年には三条小学校と統合され、新校舎とともに新生山手小学校としてスタートした。従来、山手地域では、山手コミスクによる秋の運動会などスポーツ活動が恒例行事として活発に行われていたが、阪神淡路大震災以後、住民の減少、さらには校舎立替の時期をはさみ、活動がやや不活発になっていることは否めない。また、住民の高齢化により、急な坂の途上という学校の立地条件もマイナス要因である。これら困難な点も、スポーツによる健康増進や3世代の交流の重要性を考え、住民の熱意でクリアできると信じている。しかし、最近、夜間の体育館使用について、音の問題で地域住民から苦情が出るなど、活動に関して新たな問題が生じている。

## 2. 活動拠点

芦屋市立山手小学校 西棟3F TEL・FAX 0797-23-1707

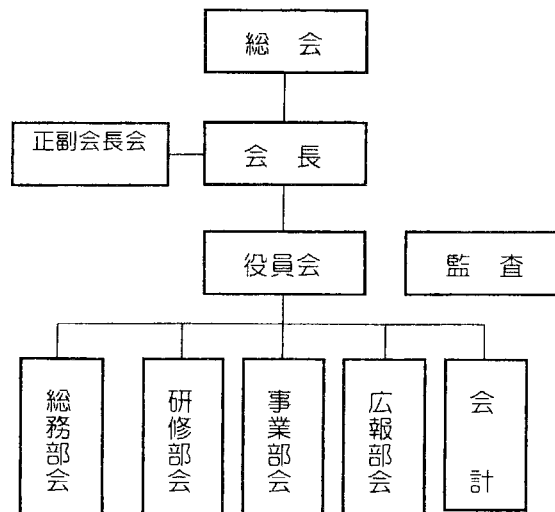
## 3. 施設名

山手小学校の運動場・体育館・プール など

## 4. 他の連携する施設名

芦屋市総合運動公園・大原集会所 など

## 5. 構成員とクラブ運営組織図概要



役 職	人数
会 長	1
副 会 長	1
総務部会長	1
事業部会長	1
研修部会長	1
広報部会長	1
会 計	1
監 査	2

## 6. クラブ設立年月日 2001年11月26日

## 7. クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事 項	内 容 等
毎月1回程度	常任委員会	○運営委員会議案等の素案 ○クラブ運営の素案 など
毎月1回程度	運営委員会	○プラン運営の素案 ○実施後の反省 ○年間計画の調整・打ち合わせ ○各クラブ活動報告と調整 ○校区内外行事との調整 など
平成29年4月	スポーツフェスタ	クラブ一堂に会し、紹介及び新会員募集
平成29年5月	オープン教室	○各所属クラブ ○ 新クラブ、及び既存クラブの会員募集のため
平成29年5月	スポーツ大会	ドッジボール
平成29年7月	水泳講習会	講師を招き、水泳講習
平成29年8月	スポーツ大会	ペタンク open大会
平成29年10月	スポーツ大会	外遊びその他
平成30年2月	スポーツ大会	種目未定
年数回程度	研 修 会	研修会の開催

## 8. クラブ会員予定人数

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	予定する種目
山手・三条サッカークラブ	60人 (男女対象 小学生～)	サッカー
山手スポーツ空手クラブ	60人 (男女対象 幼稚園～)	空 手
山手バスケットONESELF	20人 (男女対象 高校生～)	バスケットボール
山手バスケットクラブ	20人 (男女対象 高校生～)	バスケットボール
ミニバスケットボール教室	20人 (男女対象 小学生)	バスケットボール
クォーターテニスクラブ	20人 (男女対象 高校生～)	クォーターテニス
卓 球 ク ラ ブ	20人 (男女対象 中学生～)	卓 球
サリュ! ペタンク	20人 (男女対象 小学生～)	ペタンク
アスリートクラブ	40人 (男女対象 小学生)	陸 上
芦屋ペアーズ	50人 (男女対象 幼稚園～小学生)	野 球
健康体操クラブ	20人 (成人男女)	健康体操
体操クラブ	40人 (男女対象 小学生)	体操
和太鼓クラブ 山手太鼓	20人 (男女対象 小学生～大人)	和太鼓

その他、スポーツイベント毎に(水泳講習会、ドッジボール大会など)で入会を促す。

## 9. 配置する指導者

随時、配置の予定  
既存クラブの有資格者は、報告書に記載したとおりです。  
新クラブを増やす努力をします。  
その際、有資格者を講師に当てます。

10. 実施予定事業

実施事業名	目的 及び 活動回数	対象	人数	開催施設
各クラブ活動	技術、専門知識の向上を図り あわせて相互の親睦を深める。 各種大会に出場し、地域の団結心 を高める。 毎週1回～数回の練習	全登録者	10～ 60人	山手小学校 運動場 体育館 集会所
ニュースポーツ 大会	年2回程度 普及と親睦を図る	地域住民	100人	同上
各クラブ大会	クラブ員以外へのオープン体験	地域住民	100人	同上
指導者研修会	知識・技術の向上を図る	指導者	30人	同上
講演会	知識・技術の向上を図る	地域住民	不特定 多数	山手小学校 集会所

## 収支予算書

（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

# 朝日ヶ丘 S C 2 1

## 1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	2,775円	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 2,775円)
自主財源	4,871,679円	前年度繰越金
会費	300,000円	※自主財源 1,000円×300人
雑収入	20,000円	※自主財源 各行事参加費等
利息	500円	※自主財源 クラブ通帳
計	5,194,954円	(左金額内の自主財源額 5,192,179円)

## 2 支出の部

科目	予算額	摘要
運営拠点整備費	100,000円	クラブハウス整備費（基金 2,775）
スポーツ活動費	200,000円	各サークル活動推進費
事業費	100,000円	イベント事業等
管理費	100,000円	管理備品費 印刷機・コピー機リース代 等
保険費	10,000円	イベント等保険費
会議費	25,000円	総会・運営委員会等
その他経費	50,000円	雑費
自主財源	4,609,954円	
基金	0円	
計	5,194,954円	



別記（準用）

## 事業計画書

- 1 指定小学校区  
朝日ヶ丘小学校
- 2 活動拠点となるクラブハウス設置場所（連絡先〔TEL, FAX〕）  
朝日ヶ丘小学校
- 3 スポーツ活動を行う施設名  
朝日ヶ丘小学校（校庭、体育館、ゆうゆうクラブ）朝日ヶ丘幼稚園
- 4 上記施設以外に連携する施設名  
朝日ヶ丘小学校205教室、ランチルーム
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図  
添付書類参照
- 6 クラブ設立年月日  
平成14年10月5日設立
- 7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	使用会場名	備考
39人	205教室 ランチルーム	

（委員会の主な内容） 各種行事案内他  
夏まつり、プール利用について、オープンスクール、もちつき大会、備品購入

8 クラブ名、会員数（性別、年齢構成）及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数（性別、年齢構成）				活動種目
	人	男性	人	女性	人
朝日ヶ丘SC21	人	人	人	人	少年サッカー、少年野球、ミニバスケットボール、ミニテニス、空手、クォーターテニス、婦人健康体操、バドミントン、フラダンス、卓球
	~10歳	58	人	8	人
	~20歳	33	人	10	人
	~30歳	2	人	0	人
	~40歳	4	人	4	人
	~50歳	8	人	15	人
	~60歳	2	人	1	人
	61歳~	70	人	18	人

9 配置予定の指導者の資格名と資格別人数 ※できるだけ詳しく記入する。

指導者の資格名	資格別人数
別紙参照	人
	48 人

10 実施する事業内容（事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。）

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
	別紙参照				

## 平成29年度 朝日ヶ丘スポーツクラブ21 登録団体

クラブ名	代表者名	種目
朝日ヶ丘チャレンジャーズ		少年軟式野球
サッカースクール		サッカー
クォーターテニスA		クォーターテニス
クォーターテニスB		クォーターテニス
W. テニス		クォーターテニス
なかよしミニテニス		クォーターテニス(子ども)
ファイトクラブ		クォーターテニス
バドミントンクラブ		バドミントン
朝日ヶ丘空手道教室		空手
ミニバスケットボールクラブ		バスケットボール
婦人健康体操クラブ		健康体操
卓球クラブ		卓球
モハラ		フラダンス
団体計数 13クラブ		

## 平成29年度 配置する指導者の資格名と資格別人員数

指導者の資格	資格別人数	指導者の資格	資格別人数
日体協公認スポーツ指導員	1名	日本空手道糸洲会練士七段	1名
日体協公認ジュニアスポーツ指導員	1名	公式審判員(クォーターテニス)	1名
軟式野球連盟審判員	3名	地域スポーツ指導員	1名
JFA公認3級公式審判員資格	2名	公認障害者スポーツ指導員(初級)	1名
JFA公認4級公式審判員資格	8名	公認新体力テスト判定員	1名
JFA公認D級指導者	3名	芦屋市スポーツリーダー	5名
JFA公認キッズリーダー	2名	地元有志	15名
JBF公認D級コーチ	1名		
JBF公認E-1級コーチ	1名		
日本空手道糸洲会範士九段	1名		
		合計	48名

## 議案 5

## 平成29年度 事業計画

平成29年4月1日～平成30年3月31日

事業名	実施予定日	活動内容	対象者	開催施設
運営委員会総会	4月22日(土)	総会	会員	ランチルーム
熱中症予防勉強会	4月22日(土)	資料配布	地域住民	ランチルーム
朝小運動会	6月3日(土)	サークル紹介	地域住民	小学校グラウンド
ふれあいDAY	未定	多項目スポーツ	地域住民	小学校グラウンド 体育館
合同部会	6月17日(土) 9月2日(土)	合同会議 会費徴収	会員	ランチルーム
芦屋市防災総合訓練	7月2日(日)	合同訓練	地域住民	朝日ヶ丘小学校
夏まつり	7月23日(日)	3世代交流	地域住民	朝日ヶ丘小学校
もちつき大会	12月3日(日)	3世代交流	地域住民	校舎中庭前
ドラゴンボート大会	7月29日(土) 7月30日(日)	練習会 大会	地域住民	芦屋キャナルパーク
ニュースポーツ紹介等	未定	3世代交流	地域住民	小学校グラウンド 体育館
オープンスクール	随時	体験及び入会促進	地域住民	小学校グラウンド 体育館
各サークル活動	毎週	専門種目の 年間定例活動	会員約300名	小学校グラウンド 体育館 ゆうゆう倶楽部 幼稚園
役員会	毎月1回	総会準備・活動計画 クラブ間調整	役員	会議室
運営委員会	随時	オープン教室開催促進 及び調整	役員 運営委員	会議室
広報	年2回	イベント案内 情報・会員募集	地域住民	全地域
研修	随時	スポーツ研修	指導者	

## 平成29年度収支予算書

1 収入の部 クラブ名：(スポーツクラブ21打出浜)

科目	予算額	摘要
補助金	0 円	25年度終了の為
前年度繰越金	2,509,509	
会費	250,000	年会費1,000円×250人
イベント参加料	100,000	ファンラン護身術他
利息	25	預金利息
雑収入	30,000	物販販売・コミスク共催事業
計	2,889,534	

2 支出の部

科目	予算額	摘要
スポーツ活動費	200,000 円	ラインパウダー他
事業費	300,000	ファンラン・秋まつり 他
広報活動費	30,000	広報紙印刷代
会議費	40,000	打合せ等経費他
事務管理費	40,000	文具・消耗品他
整備費	100,000	整備費・備品修繕費
雑費	3,000	振込手数料料他
次年度繰越金	2,176,534	
計	2,889,534	

S C 2 1  
打出浜

事業計画書

- 1 指定小学校区  
芦屋市立打出浜小学校区
- 2 活動拠点となるクラブハウス設置場所（連絡先〔TEL、FAX〕）  
芦屋市新浜町8番2号
- 3 スポーツ活動を行う施設名  
打出浜小学校体育館・運動場
- 4 上記施設以外に連携する施設名  
兵庫県立海洋体育館・
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要  
運営組織図 別途添付
- 6 設立年月日  
平成14年10月26日
- 7 クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項	内容等
毎月1回	幹事会	活動企画等の承認
〃	事務局会議	事業の企画立案
年4回	広報委員会	広報紙作成
適宜	事業・研修会	地域事業・研修会等の企画

- 8 クラブ名、会員予定人数（性別、年齢構成）及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数（性別、年齢構成）			活動種目
スポーツクラブ 21打出浜 (クラブ数13)	250人(男性 180人 女性 70人)			・野球・少年サッカー ・成人サッカー・剣道 ・ソフトバレー・空手 ・卓球・ミニバドミントン ・成人バドミントン ・ミニバスケット ・カヌー・健康体操 ・クォーターテニス ・グリーンクラブ(皮バレー)
	～10歳	90	10	
	～20歳	40	15	
	～30歳	0	0	
	～40歳	9	0	
	～50歳	15	8	
	～60歳	10	20	
	61歳～	16	17	

- 9 配置する指導者の資格名と資格別人数

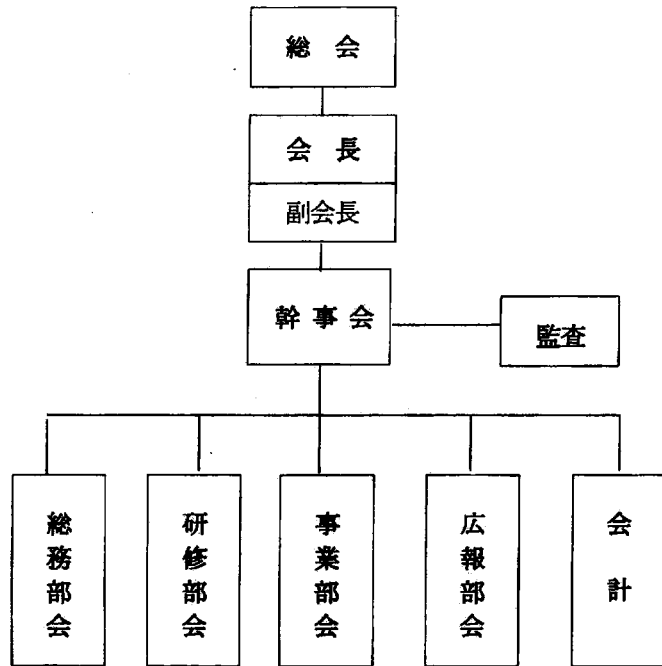
指導者の資格名	資格別人数
公認資格者	34人
地元有志	20人

- 10 実施を予定する事業内容（事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。）

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
總會	役員決定 年間行事決定 予算決定	H29年5月13日	運営委員 新・旧	60名 新・旧	クラブハウス
各クラブ活動	週1回以上練習等実施、スポーツの特性を学び技術の向上を図る	毎月の施設使用申請書にもとづく	登録者	250名	運動場 体育館 クラブハウス
救急救命講習会	役員決定 年間行事決定 予算決定	H29年7月中旬 予定	登録者	20名	クラブハウス

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
芦屋ドラゴンボートレースに参加	違うスポーツを通じて団結力を養う	H29年7月31日	小学生クラブチーム	20人	芦屋キャナルパーク
打出浜コミスク秋まつり共催	スポーツに親しみを持つよう出店フリースポーツゲーム	H29年10月下旬 予定	地域の住民	240名	体育館
市民スポーツフェスタに参加(推進委員会主催)	スポーツに親しみを企画に参加	H29年10月中旬 予定	空手クラブ	20人	ペDESTリアンデッキ
打出浜ファンラン2017	地域住民が持続的にスポーツに関わるきっかけ作り	H29年11月下旬 予定	地域の住民	150名	運動場～芦屋市マラソンコース
コミスク三世代交流 クオリティ大会に共催	地域住民三世代が、ニュースポーツ通して交流を図る	H30年1月中旬 予定	地域の住民	約120名	体育館
新年互例会	各クラブと地域役員との親睦会	H30年1月中旬 予定	指導者・幹事・自治会役員	35人	おとわ
スポーツ・コミスク活動展	各クラブ活動を紙面に展示紹介	H30年2月上旬 3日間予定	各クラブ	14登録団体	体育館・通路の壁

5. スポーツクラブ21打出浜 運営組織図



役職	氏名	住所	電話	所属
会長				芦屋市カヌークラブ
副会長				打出浜FC
副会長				打出浜小学校教頭
会計				剣道
会計				クォーターテニス
総務部部長				健康体操
広報部部長				打出浜FC
研修部部長				健康体操
事業部部長				健康体操
監査				前会計
監査				元会計

## 収 支 予 算 書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

# 岩園

## SC21

## 1 収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
助 成 金	5,319,203 円	市推進委員会事務局より 前年度基金残
自主財源積立金	4,383,930 円	前年度積立金残
会 費	190,000 円	年会費：@200 円×500 人 活動拠点維持費：@300 円×300 人
雑 収 入	100,000 円	講座参加費、広報広告料、 印刷機使用料 等
銀 行 利 息	0 円	
計	9,993,133 円	(左欄金額内の自主財源額： 4,383,930 円)

## 2 支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
運 営 拠 点 整 備 費	1,000,000 円	管理整備費
スポーツ用品 購入・修理費	500,000 円	各種スポーツ用品費・修理費
事 業 費	220,000 円	スポーツ大会、講師謝金 等
運 営 費	50,000 円	事務・会議費、通信費、研修費 等
広 報 活 動 費	70,000 円	広報紙発行(6,000部/1回)を 年2回発行、記録写真 等
基 金	8,153,133 円	基金積立、自主財源積立
計	9,993,133 円	(左欄金額内の自主財源額： 4,383,930 円)

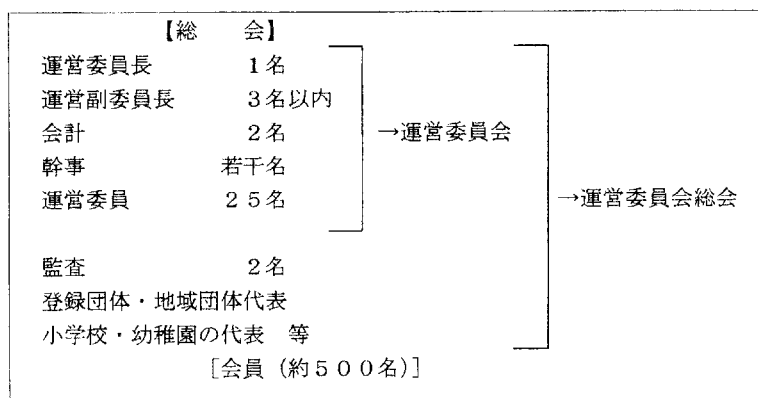
(注) 収支の計は、それぞれ一致する。

付記 専門種目の定例サークル活動参加者は、上記の『会費』の他に、サークル毎に規定の会費(スポーツ保険費用を含む)を納め、それによりサークル活動は、自主運営されます。その会費は、サークル内責任者によって管理されます。

## 岩園スポーツクラブ21

### 事業計画書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

- 1 指定小学校区 芦屋市立岩園小学校区
- 2 活動拠点となるクラブハウス設置場所  
芦屋市立岩園小学校内 岩園コミュニティ・スクール事務室  
[住所] 芦屋市岩園町23-41
- 3 スポーツ活動を行う施設名とその概要 (参考資料添付)  
芦屋市立岩園小学校 グランド 及び 体育館
- 4 上記以外の他の連携する施設名  
芦屋市立岩園幼稚園
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要



- 6 クラブ設立年月日 平成14年11月21日

### 7 クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項・内容等	
毎月1回程度	運営委員会	クラブ運営全般
平成29年4月20日	運営委員会総会	平成28年度事業及び決算報告 平成29年度事業計画、予算案の 審議・承認、役員の選出 等
平成30年4月1日	監査	会計監査

### 8 クラブ会員予定人数 (年齢構成) 及び 予定する種目

クラブ名	クラブ会員数	予定する種目
岩園スポーツクラブ21	0才～10才 (200名)	テニス・健康体操・剣道
	11才～20才 (60名)	卓球・空手・サッカー
	21才～30才 (10名)	少年少女野球・婦人バレエ
	31才～40才 (30名)	バスケット・ミニバ
	41才～50才 (50名)	スケート・クォーターテ
	51才～60才 (50名)	ニス・日舞・囲碁・ダン
	61才以上 (100名)	ス・(水泳)

### 9 配置する指導者の資格と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
日本体育協会公認A級指導員	1名
日本体操協会公認体操マスター指導員	1名
公認体力テスト判定員	1名
芦屋市スポーツリーダー	1名
剣道範士 八段	1名
剣道教士 七段	1名
剣道錬士 七段	2名
剣道錬士 五段	1名
全日本空手道 松剛館公認指導員	3名
日本サッカー協会公認C級指導員	3名
兵庫県サッカー協会3級審判員	3名
兵庫県サッカー協会4級審判員	2名
市技術委員 (サッカー)	2名

兵庫県家庭婦人バレーボール認定審判員	6名
日本体育協会公認B級指導員(バレーボール)	1名
JBA公認E-1級	2名
地元有志	20名

#### 10 実施を予定する事業内容

専門種目のサークル活動	開催回数・活動日	対象者	参加人数	開催施設
テニス	週1回(日)	会員	31名	グラウンド
健康体操	週1回(水)	会員	18名	ミーティング室
剣道	週3回(日・月・木)	会員	23名	体育館
卓球	週1回(土)	会員	18名	体育館
空手	週1回(金)	会員	23名	体育館
サッカー	週4回 (日・火・木・土)	会員	90名	グラウンド
少年・少女野球	週1回(土)	会員	59名	グラウンド
婦人バレーボール	週2回(土)	会員	16名	体育館
バスケット	週1回(日)	会員	11名	体育館
ミニバスケット	週4回 (火・金・土)	会員	34名	体育館
クォーターテニス	週3回(水・土)	会員	23名	体育館
ダンス	月2回(第2・第4木)	会員	18名	体育館
日舞	月1回(第4火)	会員	12名	コミスク室
囲碁	週1回(木)	会員	10名	ミーティング室

○上記種目のサークルは、週1～3回、定期的な練習を行い専門的知識及び技術の習得に当たっています。

○参加人数は、参考人数として前年度の登録人数を記載。

今年度は、現在募集中です。

○子ども育成のための指導者・世話役等も含まれています。

実施事業名	ねらい等	開催回数・日時	対象者	参加人数	開催施設
オープン・スクール	専門種目の一日体験入門講座	上記の各サークルが年1～2回開催	地域住民	延べ100名程度	グラウンド、体育館、和室、ミーティング室

救急蘇生法講習会		平成29年6月下旬	会員 地域住民	40名	クラブハウス
夏休みプール開放	○児童を対象とした水泳教室 ○サークル開放	平成29年8月下旬 または9月	小学生会員	水泳教室は、1日当たり80名程度	岩小プール
いわぞの秋祭り	○地域交流事業の中でSC21活動のPR ○スポーツサークルの発表&体験コーナー	平成29年10月29日	会員 地域住民	1,000名	グラウンド
多世代交流スポーツ大会	会員相互の交流を図るためのスポーツ大会	平成29年5月下旬 または12月上旬	会員	100名	体育館 又は グラウンド
ふれあい広場いわぞの活動展	「岩園SC21」活動の発表と啓蒙	平成30年1月下旬	会員 地域住民		校舎2F ラウンジ
ニュースポーツ体験会	活動展開催時にニュースポーツ体験コーナーを設ける	平成29年1月下旬			校舎2F テラス
1.17は忘れない地域防災訓練	地域の自主防災会と連携しての防災訓練	平成30年2月10日	地域住民		校区及び 岩小
クリーン作戦	いつも使用している学校施設を一斉清掃	平成30年2月24日	会員 地域住民	200名	体育館棟及び校舎開放ゾーン等
広報活動	幅広くクラブへの参加を呼びかけるため広報紙や行事案内チラシ・ポスター作成配付・掲示	○広報紙は7月と3月に地域全世帯に配付。 ○チラシ・ポスターは必要に応じ配付・掲示	地域内 全世帯		



この他に

○ニーズにあわせ、研修会・各種講座等を開催

上記のすべての事業推進にあたり

◎『定例運営委員会』（毎月1回）の他に、各事業実施に伴う企画・準備会を開いています。

# SC21 精道

別記(準用)

(クラブ名)スポーツクラブ21精道

## 収支予算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

### 1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	4,314,137円	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 4,314,137円)
クラブ財源金	2,000,664円	*自主財源 前年度繰越金
年会費	60,000円	*自主財源 200円×300人分
活動費	30,000円	*自主財源 事業参加費
使用料	100,000円	*自主財源 印刷機使用料
雑収入	5,000円	*自主財源 預金利息等
計	6,509,801円	(左金額内の自主財源額 2,195,664円)

### 2 支出の部

科目	予算額	摘要
拠点整備費	100,000円	*自主財源 0円 施設整備費
運営費	320,000円	*自主財源 20,000円 3世代交流スポーツ大会、オープンスクール等
備品費	300,000円	*自主財源 0円 備品購入費
諸謝金	300,000円	*自主財源 0円 講師謝金等
事務管理費	170,000円	*自主財源 20,000円 会議費等
消耗品費	110,000円	*自主財源 10,000円 消耗品費
印刷製本費	150,000円	*自主財源 0円 広報誌等印刷費
自主財源	2,145,664円	次年度繰越金
基金	2,914,137円	次年度繰越金
計	6,509,801円	

## 事業計画書

- 1 指定小学校区  
精道小学校区
- 2 活動拠点となるクラブハウス設置場所（連絡先〔TEL、FAX〕）  
芦屋市精道町8-25 芦屋市立精道小学校内  
精道コミュニティスクール・スポーツクラブ21事務室
- 3 スポーツ活動を行う施設名  
精道小学校 グランド・体育館・ランチルーム
- 4 上記施設以外に連携する施設名  
なし
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図  
スポーツクラブ21精道

会長 1人 副会長 1人 会計 2人 理事 若干名 監事 2人  （役員会）	登録団体 団体 9 （245人） 個人会員 （5人）  （代議員総会）
--	---

250人（29年度会員）

- 6 クラブ設立年月日  
平成15年11月6日（設立総会 平成16年1月31日）
- 7 運営委員会等の開催と協議内容
 

委員委嘱数	使用会場名	備 考
11人	精道小学校内コミスク・スポーツクラブ21事務室	

（委員会の主な内容）

  - ・平成29年度実施事業の内容検討（オープンスクール・三世代交流スポーツ大会・その他）
  - ・スポーツクラブ21精道の運営方針の検討
  - ・平成30年度総会準備

- 8 クラブ名、会員数（性別、年齢構成）及び活動した種目
 

クラブ名	クラブ会員数（性別、年齢構成）	活動種目
スポーツクラブ21精道 （愛称：ブルーバイン）	会員数250人（男170人・女80人） 小学生以下 120人 中高年生 20人 成人 110人	野球・サッカー・バレーボール・バドミントン・なわとび・健康体操・バスケットボール・空手・ダーツ （活動休止）

9 配置予定の指導者の資格名と資格別人数 ※できるだけ詳しく記入する。

指導者の資格名	資格別人数
全日本軟式野球連盟審判員2級	1人
日本サッカー協会C級コーチ	2人
日本サッカー協会D級コーチ	4人
日本サッカー協会3級審判員	2人
日本サッカー協会4級審判員	3人
兵庫県バレーボール連盟B級審判員	6人
日本バドミントン協会公認3級審判員	2人
国際なわとび競技連盟 国際審判員	2人
国際なわとび競技連盟公認審判員	4人

10 実施する事業内容（事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。）

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
三世代交流スポーツ大会の実施	高齢者から子どもまでが楽しめるスポーツで多世代の交流と親睦を図り、地域でのスポーツ活動への参加機会の創設と啓発を図る。	年1回	会員 地域住民	48人	体育館
スポーツ啓発活動の実施	スポーツ活動に誰もが気軽に参加し、身体を動かすことの楽しみを見つけ、スポーツを通じたコミュニケーションを通して地域の活性化を図る。	年3回	会員 地域住民	1回30人	体育館 運動場
専門部活動の実施	各種目別の各専門部のスポーツ活動を定期的に行い、専門知識の向上と技術の向上を図り、併せて相互の親睦を深める。各種の大会等に参加する。	毎日（活動日）	会員	245人	体育館 運動場
コミスク活動への参加	スポーツクラブ21精道の母体となる精道コミスクの事業に協賛・参加し、スポーツクラブの広報、啓発を図る。	年2回 夏祭り・精道フェスティバル	地域住民	1,000人	運動場 体育館
広報活動	年2回スポーツクラブ21精道の広報誌を作成し、精道小学校校区内の全家庭に配布し、スポーツクラブの周知を図る。		地域住民	5,500世帯	

# 浜風

## SC21

別記

クラブ名 浜風スポーツクラブ21

### 平成29年度予算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

#### 1 収入の部

科目	予算額	摘要
基金	1,090,554 円	前年度繰越金
自主財源	552,078	前年度繰越金
会費	40,000	年会費200円×200人
傷害保険料	0	
利息	200	基金通帳・自主財源通帳
計	1,682,832	

#### 2 支出の部

科目	予算額	摘要
運営拠点(クラブハウス)整備費	100,000 円	クラブハウス修繕など
消耗品費	50,000	消耗品
諸謝金	50,000	護身術、体育教室など指導者謝金
事務管理費	50,000	事務用品、通信費、振込み手数料など
クラブハウス維持費	0	光熱水費、電話代等
運営費	100,000	地域交流事業など運営経費、会議費、会費、
備品費	250,000	各種スポーツ用具購入など
印刷製本費	200,000	広報誌、用紙、トナー、マスター、インク代等
基金	290,554	次年度繰越金
自主財源	592,278	次年度繰越金
計	1,682,832	

## 平成29年度事業計画書

1. 指定小学校区  
芦屋市立浜風小学校区
2. 活動拠点となるクラブハウス設置場所  
芦屋市浜風町1-1 浜風市立浜風小学校体育館の北側の部屋
3. スポーツ活動を行う施設名  
浜風小学校グラウンド・体育館・会議室・ランチルーム・更衣室
4. 上記施設以外に連携した施設名  
芦屋市立青少年センター体育館・川西グラウンド・新浜公園
5. 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図

総会		
会長	1名	理事会
副会長	3名	
会計	2名	
理事	若干名	
監事	若干名	

6. クラブ設立年月日  
平成15年12月18日
7. 運営委員会などの開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	1回あたりの出席者数	開催場所	備考
25	12回	20人	会議室	理事会
会員募集、事業計画、会計、施設使用調整、購入備品、保険について検討 クラブ間、地域団体との情報交換、連絡調整など スポーツイベントなどの企画				

8. クラブ名、会員数及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数		活動種目
浜風スポーツクラブ21	200人(男性 113人、女性 87人)		少年少女野球、ゲートボール
	～10歳	46 15	成人ソフトボール、空手、気功
	～20歳	5 5	カローリング、フットサル、
	～30歳	7 5	ママさんバレーボール、
	～40歳	19 11	少年少女サッカー
	～50歳	7 15	スポンジボールテニス
	～60歳	16 18	ミニバスケットボール
	61歳～	13 18	

9. 配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
サッカーC級ライセンス	1
サッカー審判4級	7
フットサル審判3級	2
兵庫県ソフトボール協会指導員	1
少林寺流空手道連盟錬心士6段教士	1
同 2段指導員	1
剛心流空手道松剛館指導室2段	1
同 4段	1
日本健身気功協会指導員	1
県公認バレーボール審判	4
地域指導員	30

10. 実施予定事業内容

実施事業名	開催回数・日数	ねらいなど	対象者	参加者数	開催場所
各クラブ活動	週1～4日	スポーツ活動	会員	200	グラウンド、体育館
プール開放	校舎改修のため中止				
ラジオ体操	7月21～31日	健康増進	地域住民	延べ1000	グラウンド
空手道護身術講習会	10月予定	護身術体験	地域住民	60	体育館
交流スポーツ大会	4月22日	ウォークラリー 風船バレー 公式ワナゲ 他	地域住民	300	グラウンド・体育館
芦屋浜夏祭り参加	7月29日	地域交流	地域住民	—	中央公園
サマーカーニバル協力	7月22日	地域交流	地域住民	—	総合公園周辺
ドラゴンボート大会参加・協力	7月30日	地域交流	地域住民	—	キャナルパーク
広報誌発行	年2回	広報活動	地域住民	3300	全戸配布
地域防災訓練協力	未定	地域交流・防災	地域住民	500	グラウンド
浜風小学校清掃	9月予定	清掃	会員	120	浜風小学校
各種体験教室	随時	体験	地域住民		グラウンド、体育館

芦教ス第 17 号  
平成29年6月27日

兵庫県教育委員会 様

住 所 芦屋市川西町15-3  
団 体 名 「スポーツクラブ21ひょうご」芦屋市推進委員会  
代表者名 木野

## 基金報告書

地域スポーツ活動支援事業にかかる「スポーツクラブ21ひょうご」運営等基金の状況を補助事業実施要項第18の規定により下記のとおり報告します。

### 記

スポーツクラブ名称	前年度末基金残額	本年度基金取崩し額	本年度末基金残額	備考
三條スポーツクラブ21	1,920,458	199,520	1,720,938	H12
スポーツクラブ21潮見	2,320,618	240,451	2,080,167	H13
スポーツクラブ21宮川	0	0	0	H13
スポーツクラブ21YAMATE	2,894,437	380,965	2,513,472	H13
朝日ヶ丘スポーツクラブ21	162,775	160,000	2,775	H14
スポーツクラブ21打出浜	0	0	0	H14
岩園スポーツクラブ21	5,533,134	213,931	5,319,203	H14
スポーツクラブ21精道	4,662,369	348,232	4,314,137	H15
浜風スポーツクラブ21	1,285,089	194,535	1,090,554	H15
合 計	18,778,880	1,737,634	17,041,246	

※ 設立当初と名称を変更している場合は、新スポーツクラブ名（旧スポーツクラブ名）を併記する。

## 地域スポーツクラブ資金状況報告書

事務局名 スポーツクラブ21ひょうご  
芦屋市推進委員会事務局

(平成29年3月31日現在)

設立年度	クラブ名	基金残高	会費・利子等残高	残高計
H12	三條スポーツクラブ21	1,720,938	585,569	2,306,507
H13	スポーツクラブ21潮見	2,080,167	1,589,580	3,669,747
H13	スポーツクラブ21宮川	0	178,631	178,631
H13	スポーツクラブ21YAMATE	2,513,472	4,733,916	7,247,388
H14	朝日ヶ丘スポーツクラブ21	2,775	4,871,679	4,874,454
H14	スポーツクラブ21打出浜	0	2,509,509	2,509,509
H14	岩園スポーツクラブ21	5,319,203	4,383,930	9,703,133
H15	スポーツクラブ21精道	4,314,137	2,000,664	6,314,801
H15	浜風スポーツクラブ21	1,090,554	552,078	1,642,632
	合 計	17,041,246	21,405,556	38,446,802

(注) 基金残額は、基金報告書の額と一致する。

※ 設立当初と名称を変更している場合は、新スポーツクラブ名（旧スポーツクラブ名）と併記する。

三条スポーツクラブ21

スポーツクラブ21YAMATE

普通預金

年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
27.05.22	繰越			** **2,203,791
27.06.04		1,000,000		** **1,203,791
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		133	** **1,203,924
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		106	** **1,204,030
28.03.31	A T M		500,000	** **1,704,030
28.03.31	A T M		216,428	** **1,920,458
28.05.20		1,000,000		** ** 920,458
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		9	** ** 920,467
29.02.13	決算利息 ( 8. 15から 2. 12)		4	** ** 920,471
29.03.31	A T M		800,467	** **1,720,938

普通預金

年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
27.05.22	繰越			** **3,361,855
27.06.18		1,042,000		** **2,319,855
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		235	** **2,320,090
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		204	** **2,320,294
28.03.29			574,143	** **2,894,437
28.05.19		1,019,000		** **1,875,437
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		17	** **1,875,454
29.02.13	決算利息 ( 8. 15から 2. 12)		8	** **1,875,462
29.03.28			638,010	** **2,513,472

スポーツクラブ21潮見

朝日ヶ丘スポーツクラブ21

普通預金

年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
27.05.22	繰越			** **2,655,784
27.06.30		510,000		** **2,145,784
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		197	** **2,145,981
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		189	** **2,146,170
28.03.31	A T M		174,448	** **2,320,618
28.06.30		500,000		** **1,820,618
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		16	** **1,820,634
29.02.13	決算利息 ( 8. 15から 2. 12)		8	** **1,820,642
29.03.31	A T M		259,525	** **2,080,167

普通預金

年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
28.06.01	繰越			** ** *25,463
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		12	** ** *25,475
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		2	** ** *25,477
28.03.24	お振込 アサヒカオスホ-ツクラブニシ		137,298	** ** 162,775
28.06.01		160,000		** ** *2,775

岩園スポーツクラブ21

浜風スポーツクラブ21

普通預金

年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	残引残高
27.05.22	繰越			***5,756,968
27.06.09		1,860,000		***3,896,968
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		470	***3,897,438
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		403	***3,897,841
28.03.22			1,635,293	***5,533,134
28.05.17		1,850,000		***3,683,134
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		35	***3,683,169
29.02.13	決算利息 ( 8. 15から 2. 12)		18	***3,683,187
29.03.24			1,636,016	***5,319,203

普通預金

年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
27.05.22	繰越			***1,617,890
27.06.16		1,100,000	86)	*** 517,890
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		93	*** 517,983
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		45	*** 518,028
28.03.28	お振込 ハマカセスポーツクラブニシ		767,061	***1,285,089
28.06.27		1,100,000	86)	*** 185,089
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		5	*** 185,094
29.03.27	お振込 ハマカセスポーツクラブニシ		905,460	***1,090,554

スポーツクラブ21精道

普通預金

年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
27.05.22	繰越			***4,971,082
27.06.02		1,400,000		***3,571,082
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		321	***3,571,403
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		313	***3,571,716
28.03.29			1,090,653	***4,662,369
28.05.23		1,400,000		***3,262,369
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		27	***3,262,396
29.02.13	決算利息 ( 8. 15から 2. 12)		14	***3,262,410
29.03.28			1,051,727	***4,314,137



「スポーツクラブ21ひょうご」

クラブ育成チェック表一覧・運営上の課題・悩みや将来の構想等

運営上の課題・悩みや将来の構想等

三條スポーツクラブ21	スポーツクラブ21潮見	宮川スポーツクラブ21
平成29年度	平成29年度	平成29年度
<p>中学校新校舎建設の為、拠点である運動場がなくなってしまう。                      スポーツクラブ会員年会費100円では、自主運営が難しい。交流事業や体験事業で参加費を徴収したいと考えるが、参加費を払うほど魅力的な事業を企画できない。自主財源からの1日保険料出費はかなりきつい。</p>	<p>会員数が増えないことにあわせて、休部に至るクラブができてきている。</p>	<p>スポーツに限らず文化も含めた活動環境は恵まれているものの、やはり指導者や希望する施設の時間帯もあって多様目・多世代・一貫指導については難しい。その中であって個別にできることを継続して実行することでスポーツ・文化への理解・浸透、そして地域の活性化や住民の交流につながると期待している。</p>
スポーツクラブ21YAMATE	朝日ヶ丘スポーツクラブ21	スポーツクラブ21打出浜
平成29年度	平成29年度	平成29年度
<p>設立から16年が経過した。運営のベースはほぼできている自負がある。仕事をしている方も多いが、協力的である。新しいサークル設立も考えているが会員が少なくて講師も長続きしない。高学年になると塾通いが始まり退会が増えるのも悩みの種。</p>	<p>新規サークル、新規会員の募集を積極的に行っている。</p>	<p>特に子供に人気のサークルは参加が多いが、ミニバドミントン、空手、剣道は参加者が減少している。そのためクラブ維持の為の会費値上げも視野に入れながらの活動をしている。自分のSC21にはないサークルに入部希望が来るが、どこまで受け入れるのか、悩ましいところである。</p>
岩園スポーツクラブ21	スポーツクラブ21精道	スポーツクラブ21浜風
平成29年度	平成29年度	平成29年度
<p>活動拠点の岩小は現在校舎増設工事中で、8月中旬から年末頃まで校庭が使用不可となる。その間、サッカー・野球・テニスの活動をどのように工夫していけばよいか、が直近の課題。                      教室不足の中、今年度中にキッズスクエアが始まることになっている。現在のSC21の活動が縮小にならないように上手く調整できるといいが、と願っている。</p>	<p>特になし。</p>	<p>スポーツクラブ21設立15年が過ぎ、物置やコピー機等が壊れてきた。今はメンバーが慣れた人が主となり大変上手く活動ができているが、後継者を育てる必要がある。(育てては逃げられて)</p>

「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表一覧 H29年度

三条スポーツクラブ21											
平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
750人		550人		465		430人		450人		448人	
100人		70人		80		160人		150人		100人	
7,703人		8,335人		8,300		8,326人		8,170人		8,264人	
9.73%		6.59%		5.60%		5.16%		5.51%		5.42%	
現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
少年野球, 少年サッカー, 硬式テニス, 卓球, バレーボール, 健康体操	2	こども, 中高年対象の種目	3	硬式テニス, 卓球 のみ	3	少ないが出来ている	3	維持できている。	3	サークル数が少ない。	1
異世代(多世代)こうりゅうのできる講習会や運動を実施	3	運動会, スポーツ講習会で異世代交流を実施	4	異世代交流を目的とした運動会やニュースポーツ講習会, ラジオ体操を開催	4	運動会, ラジオ体操, 公式わなげ等開催している	4	運動会, ラジオ体操, 単発講習会等を開催している。	4	多世代交流できるスポーツに取り組んでいる。	1
硬式テニス, 卓球においては子どもから大人まで対象	2	活動体制はとれていると思う	3	少年野球, 少年サッカー, 婦人バレーボール等 世代に分かれている。	2	一部多世代になっていないクラブもある	2	各クラブにより世代が分かれている。	2	特になし	3
1階体育倉庫の2階を利用。プレハブの老朽化で床が不安定	2	使用に問題はないが, プレハブで老朽化が気になる	2	プレハブ2階建て。1階体育倉庫, 2階クラブハウスとして利用。老朽化。	2	クラブハウスはあるが老朽化が著しい	2	利用している。	2	活動拠点の中学運動場に新校舎建設の為, 6月末でクラブハウス取り壊し。	1
スポーツ推進委員。各クラブでは指導者	5	とっている	5	年会費と基金で運営。クラブ内サークルは月会費徴収し, 自主運営。	4	出来ている。クラブ内サークルは自主運営	4	出来ている。	4	特になし	5
スポーツクラブ21では年会費。各クラブでは月会費	5	ある程度整っている	4	クラブ内サークル会員は, 保険加入, 月会費等 整っている。	4	整っている	4	整っている。	4	サークル毎に年会費, 月会費を集めて自主運営。	5
中学校施設利用のため, 中学校部活との調整, 連携 有り	4	連携は図られている	4	中学校施設使用の為, 中学校部活との日程調整。	4	中学校施設使用の為, 中学校部活との日程調整をしている	4	中学校施設利用のため部活動との日程調整を図っている。	5	卓球クラブに関しては, 中学校部活後の時間を使用するため, 中学生も参加。	3
年会費, 自主財源, 基金の一部	5	会員年会費のみが収入源	4	基金 + 21会員年会費 の収入。	4	基金と年会費	4	基金と年会費	4	例年, スポーツクラブ会員1年100円×約500名が自主財源。	3
地域広報年6回発行	3	年6回 地域行事案内とともに発行	3	年6回発行のコミスクだよりで情報発信, 事業告知。	4	コミスク便りなどで発信している	4	コミスク便りにて発信	4	行事お知らせチラシの配布。	2
種目クラブ毎に合同練習や交流試合 有り	2	サークルごとに他のクラブとの連携・交流有り	3	サークルごとに交流試合等で図られている。	3	サークルによっては交流試合等をしている	3	サークル毎に他クラブとの交流がある。	3	特になし	1
講習会や運動会の子育て世代, 高齢者の参加者が増。常連増	3	高齢者の参加が増えた	4	単発のスポーツ教室や講習会に楽しんで参加してもらえらる。	5	単発事業に多数の参加者がある	4	多世代に渡り参加者がある。	3	夏のラジオ体操参加には早起き, 健康の自己管理等, 参加者が気付いている。	3
不明	1	わからない	2	わからない。	1	わからない	1	わからない。	1	特になし	1
年会費の会員証発行で, クラブ員の意識。年間行事への意識が増	4	スポーツ行事が地域交流行事となり, 老若男女の参加が増えた	4	夏休みに開催の約30日間のラジオ体操では, 人と人, 地域交流の活性化。	4	夏休みのラジオ体操, 運動会では多世代交流がみられる	4	ラジオ体操, 運動会等では多数参加がある。	4	交流事業には積極的に高齢者の参加が増え, 元気な高齢者が多い地域。	4

スポーツクラブ21潮見

平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
288人		309人		233		288人		280人		270人	
288人		300人		233		288人		280人		270人	
9,398人		11,190人		11,200		11,300人		11,244人		11,293人	
3.06%		2.76%		2.08%		2.55%		2.49%		2.39%	
現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
会員は多種目を選択できる	4	できている(13種目)	5	会員は多種目に参加で出来る体制をとっている。	5	会員は多種目を選択できる	5	出来ている	5	できている	5
会員は子どもから高齢者まで活動ができています	5	小学校校区なので中・高生の参加が少ない	4	子供から大人まで世代に応じた活動を行っている。	5	世代に応じた活動を行っている	5	年代別の活動を行っている	5	年代別の活動を行っている	5
一貫の体制ではない	2	クラブにみあった活動体制はとれている	3	各クラブにみあった体制をとっている。	3	各種目で活動出来ている	3	各種目団体で行っている	4	各種目団体で行っている	5
学校の空き教室を異クラブハウスとして活用できている	5	今のところ問題なしが空き教室借用なので児童が増えたときどうするか	4	学校の空き教室を利用している。	5	学校の空き教室を利用している	5	学校の空き教室を利用出来ている	5	現在のところ学校の空き教室を利用	5
各クラブは自主運営できている	5	とっている	5	各クラブは自主運営出来ている。	5	各種目クラブで自主運営出来ている	5	各種目団体で行っている	5	各種目団体で行っている	5
その方向に向けて運営している	3	徐々に整ってきている	4	徐々にその体制に向け、進めている。	4	整えている	4	会員の意識が高まり徐々に整ってきている	5	徐々に整ってきている	3
定期的に会議等で協力体制をとっている	5	多いに図れている	5	連携、情報交換は図られている。	5	情報交換や協力体制は図られている	5	おおむね図られている	5	ほぼ図られている	4
徐々にではあるが前進している	3	基金が垂悪までに計算できるように収入増を画策中	4	十分ではないが進めている。	4	十分ではないが進めている	4	十分ではないが進めている	4	ある程度できている	3
広報紙やチラシなど配布している	4	これまでと同じ	3	広報紙や、チラシなど地域に発信している。	4	広報紙や案内チラシを地域に発信している	5	事業案内など地域に発信している	4	広報紙の配布、行事案内を発信している	4
情報交換や交流については積極的に行なっている	4	地域事業においてはある程度図られている	4	必要に応じて。	4	必要に応じて行っている	4	必要に応じて行っている	4	必要に応じて交流している	4
変化なし	2	最近市域事業の参加者が増加の傾向	3	特に変化なし。	3	特に大きな変化はみられない	3	現状維持	3	現状と変わらず	3
わかりません	2	あまり感じない	2	特に変化なし。	3	変化なし	3	特に変化無し	3	特になし	3
変化なし	2	地域事業においては校区内自治会や管理組合が常に協力	4	特に変化なし。	3	変化なし	3	変化なし	3	特になし	3

スポーツクラブ21宮川

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
165人	168人	165	167人	177人	167人
11人	11人	16	13人	19人	13人
11,710人	11,732人	11,749	10,654人	11,853人	11,821人
1.4%	1.43%	1.40%	1.57%	1.49%	1.41%
現状	現状	現状	現状	現状	現状
使用日、使用時間帯そして指導者に制約有り	使用日、時間帯、場所、指導者関係で「選択」できる状況ではない	施設、使用希望、時間帯、指導者の有無もあって「選択」できるに至らず	これまで同様に施設、使用希望、時間帯、指導者の有無もあって「選択」できるに至らず	使用施設や時間帯、指導者等で「都度選択」ではなく登録制での活動	施設、使用希望、時間帯、指導者の関係で「多項目選択」体制ではない
上記同様に制約有り	上記同様に「多世代のニーズ」にはいたっていない	上記にも関連するが、「多世代のニーズ」にまで応じることはできていない	施設、時間帯、指導者の関係で多世代のニーズに応じることはできていない	施設や設備、指導者の関係で多世代ニーズ対応まで至っていない	上記同様に「ニーズに応じたメニュー」では組んでいない。
上記の制約に加え、種目が限定される。	場所や指導者に制約あり	上記同様に「一貫しての活動」には指導者を含めて難しい	上記同様に「一貫しての活動」には至っていない	上記同様に施設や設備、指導者等の関係で一貫しての活動はできていない	上記同様に一貫体制はできていない。
クラブ専用の事務室を所有	クラブ専用の事務室設置済み	クラブ専用の事務室等あり	共有使用可能な施設・設備は完備していると思われる	登録団体が使用できるスペース等は確保できている	共有して使用できる設備は有している。
学校協力を得ての自主運営はできる	あくまでも「コミスク」内での自主運営はできていると考える	個々の団体の活動は尊重する中で、クラブとしては自主運営である	個々の団体の活動は尊重する中で、クラブとしては自主運営である	基本的に各団体による独自活動・運営を尊重	コミスクとの連携で自主運営している。
会費で運営するが、コミスク連携で体制をとっている	上記同様「コミスク」内での受益者負担の体制はできている	各人会費内での自主運営を基本としている	クラブ全体としては会員による会費(年1,000円/人)で運営	スポーツクラブ(コミスク)として年1,000円/人の会費で運営	年会費(¥1,000/人)を基本として
毎月の定期幹事会を通じて連携を図っている	毎月の定期幹事会にて情報の共有、連携はできている	クラブ全体だけでなく、個別での団体や学校との連携・協力あり	クラブ全体に加え、個々の団体ごとでも連携・協力がはかられている	クラブとして、個別登録団体としてはそれぞれの立場での連携協力	全体並びに個別での連携・協力はできている。
あくまでもコミスクとの連携において	「コミスク」との連携において可能と考える	スポーツクラブ単独ではなく「コミスク」の一員としての自主運営	設立に関係するが、スポーツクラブ単独ではなく、コミスクの一員として	設立の経緯もあるが、コミスクとの関連において自主運営は可能	コミスクとの連携での自主運営
毎月の定例幹事会や掲示板を通じて	毎月の定例幹事会や掲示板を通じて	積極的にとまではいかないが、連絡協議会等を通じて	積極的にとまではいかないが、コミスクとの関係において	積極的とまではいっていないが、コミスクとの関連において情報は発信済	積極的とまではいかないが、クラブ、コミスク内での情報共有はしている。
連絡協議会を通じて	他のスポーツクラブとの連携交流は限られている	上記同様	連絡協議会等での情報交換によりなされていると思われる	従来通り連絡協議会等での連携・交流のみ	連絡協議会を通じて
これまでのコミスクの延長線上でとらえている	特になく、あくまでも「コミスク活動」の延長ととらえられている	ベースのコミスク活動の継続ということから特に変化はない	もともとの設立がコミスクに関連してのものであり、特に変化はないと思う	従来のコミスクのスポーツ部門のクラブ化につき、特に変化はなし	設立はコミスクがベースにあることから特に変化があったとは思われない。
特に大きな影響はないが、継続できている	好影響は不明だが、スポーツに親しむきっかけにはなっている	好影響の有無は難しいが、スポーツが身近な意識でとらえているのでは	好影響かどうかの判断は難しいが、スポーツ推進でのマイナスはない	クラブ自体では特になく、スポーツ推進・継続にはプラスと判断している	好影響についての判断はできないが、マイナス要素はない。
設立による活性化はないが、活動継続には意義があると思う	設立による変化は感じられないが、継続しての活動に意義があると思う	クラブの有無ではなく、コミスクとしての継続活動に意義があると思う	コミスクの一員として地域の活性化よりも継続活動に意義があると思う	コミスクの延長線上であり、地域の交流や活性化にはプラスでは、...	従来からのコミスク活動との関連であり、活性化へのマイナスはない。

スポーツクラブ21YAMATE											
平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
350人		528人		432		407人		430人		319人	
270人		250人		300		301人		180人		250人	
18,880人		14,143人		11,300		13,687人		11,822人		11,715人	
1.85%		3.73%		3.82%		2.97%		3.64%		2.72%	
現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
	3	できているかどうか(9種目)	4	10種目 多いとは言えないかも。	3	とってはいますが、多種目参加は多いとはいえません。	4	新しい種目を増やす努力はしている。	4	12種目が多種目と言えるかどうか。	4
	4	小学校区なので中・高生の参加が少ない。30歳40歳の加入が難しい	3	中・高生、30、40代の参加が少ない。	3	どのスポーツも参加可能ですが中高生～40代は集まりません	4	参加しにくい世代のニーズを探る努力をしている。各クラブ、門戸を広く開くようお願いしている。	4	取組んでいるつもりだが、もっと増やしたいという思いはある。	4
	3	クラブに見合った活動体制はとれている	3	条件にあったクラブは少ない。	3	活動への呼びかけはしています。指導とは？	3	従来、大人だけのクラブにジュニア部門も設けている。(ソフトテニス・卓球・太鼓)	5	種目による。	4
	5	専用施設があります	5	活動の拠点になっている	5	有効に活用しています	5	今、与えられている場所は自由に使ってもらっている。	5	1部屋を完全に与えられている。整っている。	5
	5	とっている	5	とっている	5	とっています	5	クラブ備蓄金も考慮に入れてもらうようお願い。祭りの収益など、すべてクラブに還元。	5	全員ボランティアで頑張っている。	5
	5	ある程度整っている。大きな備品購入は助成金からの支出に頼らざるおえない	4	大きな備品の購入に関しては助成金に頼らざるを得ないが、ほぼ自主運営できている	5	整っていますが、会費がないところもあるのでそのほうが心配です	4	できていると思う。	5	7分通り	4
	5	多めに図られている。月1回の委員会を開催。学校関係者、各クラブから幹事が出席し、意見交換等連絡を取り合っている	5	学校との連携はとれている。	5	学校との連携はたいへん良好です	5	学校とは非常に緊密、かつ友好的に運営している。外部のクラブとも現在、進めている案件がある。	5	学校との連携は十分取れている。	5
	4	基金が終わるまでに計算できるように収入増を画策中	4	自主財源を増やすべく努力している。	5	会員数の少ないクラブや出入りの多いクラブが難しいと感じています	4	今のところバランスはとっているが、将来、備品の老朽化などもあり、会費について一考を要するかもしれない。	5	7分通り	4
	4	年2回広報紙を全戸配布のほかランダムにイベントチラシも配布	3	年2回の全戸配布広報紙とイベント毎のチラシを小まめに配布。HPの充実を語る	5	年2回の広報紙発行やイベントチラシを発信しています	5	HPの充実をさらに語り、情報の提供量を増やしたい。現在、進行中！	5	努力している。全戸配布広報紙で活動をPR.	5
	3	地域事業においてはある程度図られている	4	芦屋市SC連絡協議会で情報交換をしている。	5	連絡協議会で意見交換などはできていますが交流まではいかないかも	4	HPにより、他クラブからの問い合わせがある。	5	なかなか難しい。他クラブがYAMATEに入会したケースがある。	4
	4	最近地域事業の参加者が増加の傾向	4	地域イベントへの参加者が増加したように感じる。	4	広報紙発行後に問い合わせがあつたりしますが変化の実感はありません	3	スポーツクラブに所属する、という概念は多少なりとも広がったかと。しかし、まだご存じない方もいるのは残念！	4	スポーツに対する認識はUPLしているのでは、と思う。	5
	3	あまり感じない	2	分からない。	3	好影響かはわかりませんが、地域性にあった活動をしていると思います	3	分かりません。しかし、YAMATEに問い合わせがあるということは、多少波及しているのかも。	3	特になし	3
	4	地域事業においては校区内7自地会が常に協力	4	スポーツへの意識の向上は語れているのではないかと思います。	5	意識をもって活動しています。活動場所が住宅街なので理解をえられないことも・・・	3	そうなっていると思いたい。地域の方が判断される事でしょう。スタッフ、日々努力はしています。皆さん、ボランティアで！	3	活性化は見られたと思う。	4

朝日ヶ丘スポーツクラブ21											
平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
489人		286人		277		270人		256人		232人	
489人		88人		61		79人		93人		85人	
9,824人		9,787人		9,845		9,737人		9,585人		9,314人	
5.00%		2.92%		2.81%		2.77%		2.67%		2.49%	
現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
学校施設は最大有効活用している。施設不足で種目が増やせない	4	出来ている(12種目)	5	できている	5	できている	5	できている	5	特になし	5
施設不足で応じることができない	4	小学校校区なので中・高生の参加が少ない	5	中・高生向けは少ない	4	特別メニューはないが、クラブOBが引き続き参加してくれている	4	中高生向けのクラブは無いが、卒業生が時々参加している	4	特になし	5
若者が活動するのはむづかしい	4	クラブにみあった活動体制は取れている	5	クラブに見合った活動はできているが、大人のサークルに新人が入りにくい	4	クラブに見合った活動はしている	4	クラブに見あった活動をしている	4	特になし	4
有効活用している	4	今のところ問題なし	5	有効に活用している	5	有効に活用している	5	有効に活用している	5	特になし	5
各クラブは自主運営ができています	5	自主運営ができています	5	自主運営ができています	5	自主運営ができています	5	自主運営ができています	5	特になし	5
それぞれに会費は違うが運営は整っている	5	整っている	5	整っている	5	整っている	5	整っている	5	特になし	5
学校との連携・協力は良好	5	学校とは図れているが、市内の民間スポーツクラブなどとは関係ない	4	学校とは連携しているが、民間とは連携していない	4	学校と連携しているが、民間とは連携していない	4	学校とは連携しているが、民間とは連携していない	4	学校との連携は取れている。他のスポーツ団体との関わりはない。	3
各クラブとも年間計画で運営は計算ができています	5	出来ている	5	できている	5	できている	5	できている	5	特になし	5
広報紙は年2回発行	4	年2回のコミスクだよりと造形展で広報、夏祭り、運動会で活動披露	5	今年度よりカラー紙となり、より見やすい工夫をした	5	できている	5	広報誌「コミスクだより」を年2回発行、新しく掲示板をコミスク室横に設置	5	年2回広報誌を地域住民に全戸配布している。	5
年間を通して連携交流が図られている	4	地域事業においてある程度図られている	5	交流試合など子どもサークルは盛んだが、大人のサークルはしていない	4	子どもサークルは市内はもとより、他地域との交流も盛んになってきている	4	子どもサークルは市内、市外などとも交流が盛んなサークルが多い	4	クラブによっては交流戦があったり、試合はするが、楽しむだけの高齢者が多いクラブは、他の地域のクラブとの交流はない。	3
イベント等には意識が高い参加率は高い	3	設立より年数が経っているので、設立による変化はないが、加入率はやや減少	3	今は特に感じられない	3	特に感じない	3	特に感じない	3	特になし	4
お互いに切磋琢磨している	3	あまり感じない	3	あまり感じない	3	わからない	3	試合で勝ち進むと、目標にしているようだ	3	特になし	4
自己評価は活性化していると思われませんが...	4	地域事業においては常に学校、園、自治会、福祉など協力	5	地域行事の時は、多くの協力者があり大変盛り上がりしている	5	イベント時にはクラブごとに協力があり、コーチ、クラブOBの参加も多い	5	イベント時にはクラブごとの協力があり、コーチやOBの参加も多い	5	クラブ会員が夏まつりやもちつき大会などで協力、参加していて、多くの地域住民がきてくれる。	5

スポーツクラブ21打出浜

平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
273人		292人		275		254人		254人		261人	
8人		24人		105		200人		105人		105人	
9,795人		10,249人		10,206		10,133人		10,090人		10,001人	
2.78%		2.84%		2.69%		2.51%		2.52%		2.61%	
現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
できている(14種目)	5	できている(13種目)少林寺が廃部	5	13種目	5	14種目(バレーが登録)	5	14種目	5	14種目	5
小学校区なので中・高生が少ない	4	クラブとしては中・高生の登録がみられないが、地域事業に限られているが、中・高生が増えた	4	昨年と同様、地域事業に中・高生の参加がある。	4	地域事業に中高生の参加	4	昨年と同様、地域事業に中・高生の参加がある。	4	昨年と同様、地域事業に中・高生の参加がある。	4
クラブにみあった活動体制はとれている	3	クラブにあった活動体制はとれている	4	クラブに見合った活動体制	4	クラブに見合った活動体制	4	クラブに見合った活動体制	4	クラブに見合った活動体制	4
空き教室を使用しているのが今のところ問題なし。児童数が増えたらどうするか	4	今のところ問題なし、空き教室借用なので児童が増えたときどうするのか	4	今のところ問題なし	4	今のところ問題なし	4	今のところ問題なし	4	今のところ問題なし	5
とっている	5	とっている	5	取れている	5	とっている	5	取れている	5	取れている	5
ある程度整っている	4	ある程度整っている	4	当分は現状維持で整っているが、基金なしの状態、受益者負担の再考	4	基金なしなので受益者負担の再考	4	当分は現状維持で整っているが、基金なしの状態、受益者負担	5	当分は現状維持で整っているが、基金なしの状態、受益者負担	5
多いに図られている	5	多いに図られている	5	はかれている。	5	多いにはかれている。	5	はかれてる。	5	はかれてる。	5
現状普。基金が無くなるまでに計算できるように収入増を画策中	4	現状普。基金が終わるまでに計算できるように収入増を画策中	4	現状はできるが、先にも書いたが、今後、再考の余地あり。	4	現状は出来る。今後再考。	4	現状はできるが、先にも書いたが、今後、再考の余地あり。	4	現状はできるが、先にも書いたが、今後、再考の余地あり。	4
年4回発行	3	年4回配布	3	地域事業においては、取れている	4		4	地域事業においては、取れている	4	地域事業においては、取れている	4
地域事業においてはある程度図られている	4	地域事業においてはある程度図られている	3		3		3		3	特になし	3
最近地域事業の参加者が増加の傾向	3	最近地域事業の参加者が増加の傾向	3	昨年同様、現状維持は出来ている。	3	地域事業の参加が増えている。	4	昨年同様、現状維持は出来ている。	3	昨年同様、現状維持は出来ている。	3
あまり感じない	2	あまり感じない	2	あまり感じない	2	あまり感じない	3	あまり感じない	2	あまり感じない	2
地域事業においては校区内4自治会が常に協力	4	地域事業においては校区4自治会が常に協力	4	地域事業においては、校区4自治会が常に協力	4	地域事業・幹事会等校区4自治会が協力大	4	地域事業においては、校区4自治会が常に協力	4	地域事業においては、校区4自治会が常に協力	5



岩園スポーツクラブ21						
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年	
508人	511人	484	440人	466人	508人	
430人	440人	410	371人	393人	386人	
12,535人	13,264人	13,318	13,470人	13,404人	13,266人	
4.05%	3.85%	3.63%	3.27%	3.48%	3.83%	
現状	現状	現状	現状	現状	現状	現状
複数のサークルに参加可能。実際に複数のサークルにさんかされている方有り。	各サークル毎に徴収する会費も低額で、複数のサークルに参加しやすい体制です	サークル毎の会費は低額に設定されていて、複数サークルに参加しやすい体制です。	サークル毎の会費が低額設定なので複数サークルに参加しやすい体制です。	サークル毎の会費が低額設定なので、複数種目に参加しやすい体制です。	サークル毎の会費が低額設定なので、複数種目に参加しやすい体制です。	サークル毎の会費が低額設定なので、複数種目に参加しやすい体制です。
小学校卒業と同時に引退というサークルも多く、中高生への対応が不十分	子どものサークルは小学校卒業と同時に引退というところも多く、中高生への対応が不十分です	子供対象のサークルには、参加対象が小学生までという種目があります。	子どもの受け入れが小学生迄で中高生に対応できていない種目があります。	中高生に対応できていないサークルもあります。	中高生に対応できていないサークルもあります。	中高生に対応できていないサークルもあります。
サッカー・野球・ミニバスは小学生までが対象でその後は部活へ	サッカー・野球・ミニバスは小学生までが対象で、その後は部活へ	上記の理由で、サッカー・野球・ミニバスは小学校卒業後は、部活へ。	上記の理由で、サッカー・野球・ミニバスは小学校卒業後は部活へ。	上記の理由から、サッカー・野球・ミニバスは小学校卒業後は部活へ。	上記の理由から、サッカー・野球・ミニバスは小学校卒業後は部活へ。	上記の理由から、サッカー・野球・ミニバスは小学校卒業後は部活へ。
フルに活用しています	フルに活用しています	フルに活用しています。	フルに活用しています。	フルに活用しています。	フルに活用しています。	フルに活用しています。
全体運営とは別に、各サークル毎に自主運営のシステムが出来ています	全体運営とは別に、各サークル毎に自主運営のシステムが出来ています	全体運営とは別に、各サークル毎に自主運営のシステムが出来ています。	全体運営とは別に、各サークル毎に自主運営のシステムが出来ています。	全体運営と別に、各サークル毎に自主運営システムが出来ています。	全体運営と別に、各サークル毎に自主運営システムが出来ています。	SC21の全体運営と別に、各サークル毎に自主運営システムが出来ています。
今後高額備品の買換えは必要な時期になります。その時完全受益者負担は難しいかと思いますが、友情活動においては目処がたっています	現時点で高額備品の買換えもふくめると受益者負担率100%ではないが、基金を大切に使い困らないよう対処している	現時点で、高額備品の買換えも含めると受益者負担率は100%ではないが、基金を大切に使い、困らないように対処している。	現時点では高額備品の買換え資金も含めると受益者負担率100%とは言い難いが、基金を大切に運用して困らないように対処しています。	現時点では高額備品の買換え資金も含めると受益者負担率100%とは言い難いが、基金を大切に運用して困らないように対処しています。	現時点では高額備品の買換え資金も含めると受益者負担率100%とは言い難いが、基金を大切に運用して困らないように対処しています。	現時点では高額備品の買換え資金も含めると受益者負担率100%とは言い難いが、基金を大切に運用して困らないように対処しています。
学校との連携はとれていますが、クラブ活動との連携は図られていません	学校との連携はとれていますが、クラブ活動との連携は図られていません	学校との連携はとれていますが、クラブ活動との連携は図られていません	活動する上での学校との連携は取れていますが、クラブ経つ同との連携は取れていません。	活動する上で、学校との連携は取れていますが、クラブ活動との連携はありません。	学校との連携、サークル毎に同一種目の他団体との連携は取れていますが、部活との連携はありません。	学校との連携、サークル毎に同一種目の他団体との連携は取れていますが、部活との連携はありません。
高額備品の買換えは今は大丈夫ですが、この先の長期計画が必要になると思います	受益者負担の欄への回答+この先の運営方法を含む長期計画は必要	受益者負担の欄への回答+この先の運営方法を含む長期計画は必要	受益者負担の欄への回答+この先の運営方法を含む長期計画を検討中です。	受益者負担の欄への回答+この先の長期運営計画を検討中です。	次年度予算で基金残と自主財源がほぼ半々で1000万円となり、この調子で運営して行けたらと考えています。	次年度予算で基金残と自主財源がほぼ半々で1000万円となり、この調子で運営して行けたらと考えています。
地域内に全戸配布。年2回及び随時行事案内を掲示・配布している	地域内に全戸配布。年2回及び随時行事案内を掲示・配布している	地域内に全戸配布/年2回の広報紙発行と随時行事案内を掲示・配布しています。	地域内に全戸配布/年2回の広報紙発行と随時、行事案内を掲示・配布しています。	地域内に全戸配布/年2回の広報紙(6300部)発行と随時、行事案内を掲示・配布しています。	地域内に全戸配布/年2回の広報紙(6000部)発行と随時、行事案内を掲示・配布しています。	地域内に全戸配布/年2回の広報紙(6000部)発行と随時、行事案内を掲示・配布しています。
種目毎にサークル間での交流は図られています	種目毎にサークル間での交流は図られています	クラブ間での情報交換と種目毎のサークル間での交流(合同練習や試合)は図られています。	クラブ間での情報交換と種目毎にサークル交流は図られています。	クラブ間での情報交換と種目ごとのサークル交流合同練習や試合は図られています。	クラブ間での情報交換と種目ごとのサークル交流合同練習や試合は図られています。	クラブ間での情報交換と種目ごとのサークル交流合同練習や試合は図られています。
以前よりコミスクとしての活動がありましたので...	SC21設立より、コミスクとしての活動がありましたので、顕著な変化は実感していません	SC21設立より、コミスクとしての活動がありましたので、顕著な変化は実感していません	SC21設立以前より、]コミスクとしての活動実績がありましたので、顕著な変化は実感していません。	SC21設立以前より、コミスクとしての活動実績があるので、顕著な変化は実感していません。	SC21設立以前より、コミスクとしての活動実績があるので、顕著な変化は実感していません。	SC21設立以前より、コミスクとしての活動実績があるので、顕著な変化は実感していません。
			同上	同上	同上	同上
			同上	同上	同上	同上

スポーツクラブ21精道											
平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
226人		263人		278		244人		240人		244人	
226人		251人		250		238人		229人		241人	
12,760人		13,671人		13,328		13,434人		13,263人		12,436人	
1.77%		1.92%		2.09%		1.82%		1.81%		1.96%	
現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
10種目のクラブが活動しており、複数の種目の選択が可能	4	できている	5	多種目のクラブが活動しており、複数の種目の選択が可能	5	10種目のクラブが活動しており、複数の種目の選択が可能	5	9種目のクラブが活動しており複数の種目の選択が可能。	5	複数の種目で多世代が参加できる環境がある。	5
子どもから高齢者までが参加できるメニューが用意されている。	4	小学校校区なので中・高生の参加が少ない	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある。	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある。	4
バドミントン以外は他世代が一貫して活動できる体制になっている	2	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	3	子どもから大人まで参加できる種目は少ない	2	多世代にわたって参加可能なクラブは少ない	2	多世代が一貫して参加できる種目は少ない。	2	多世代が一貫して参加できる種目は少ない	2
学校内にクラブハウスを設置、活動時には常時利用	5	コミスクとの兼用であるが独立したクラブハウスを確保している	5	コミスクとは兼用であるが、クラブハウスを確保している	5	コミスクとは兼用ではあるがクラブハウスを確保している	5	コミスクと兼用ではあるが、専用のクラブハウスを確保している。	5	コミスクとは兼用であるが、専用のクラブハウスを確保している。	5
役員会を組織し、クラブ活動は役員会を中心に活動している	5	自主運営体制となっている	5	自主運営体制となっている	5	自主運営体制となっている	5	自主運営の体制となっている。	5	自主運営の体制となっている。	5
種目ごとの会費は利用者が全て負担。クラブ全体で行なう行事は基金を活用	4	ある程度整っている	4	日常の種目活動は受益者負担で行っている	4	日常の活動は受益者負担で行っている	4	日常の活動費は、受益者負担で実施している。	4	日常の活動は受益者負担で実施している。	4
役員には学校、PTA代表が参画し事業を運営	3	学校等との連携協力はできている	4	PTA、学校から役員に参画があり連携を取る努力はしている	4	PTA、学校から役員が参画しており、連携した活動を目指している	4	PTA、学校からも役員として運営に参加している。	4	学校・PTA・コミスクからも役員を選出し、運営の協力を得ている。	4
日常の活動経費は確保できるが、広報やイベントの事業費確保は困難	4	問題はない。基金がなくなっても各種目の活動継続は可能	4	種目ごとの会費は会員が負担して事業を実施できている	4	各種目の活動は自主財源で賄われており、収集の確保はできている	4	日常の活動費は受益者負担で運営できている。経理面は安定している。	5	日常の活動は受益者負担で行われており、経理面は安定している。	5
広報紙を年2回発行し校区内に配布している	3	年2回広報紙を配布。事業の周知は学校、幼稚園等にチラシを配布	4	年2回広報紙を発行、オープンスクールは学校を通じてチラシを配布	4	年2回の広報誌の発行、行事関係は学校でチラシを配布し広報している	4	年2回広報紙を発行している。行事は別途チラシを作成し生徒に配布。	4	年2回広報誌を発行、行事ごとにチラシを配布している。	4
連絡協議会に参加し活動	3	連絡協議会に参加	3	連絡協議会に参加	3	連絡協議会に参加している	3	連絡協議会に参加している。	3	連絡協議会に参加している。	3
クラブ設立以前からコミスク活動が定着しており新たな変化はない	1	設立以前より地域の活動が活発であったため大きな変化はない	2	クラブ設立以前からコミスク活動が行われており、大きな変化はない	2	クラブ設立以前よりコミスクの活動があり、大きな変化はない	2	クラブ設立以前にコミスクが活動しており、大きな変化は見られない。	2	クラブ設置以前からコミスク活動があり設立後の変化は少ない。	2
それぞれのクラブの運営方針に基づいて運営されている	1	あまり感じない	2	あまり感じない	2	あまり感じない	1	影響は感じられない。	1	影響を与える常用ではない。	1
スポーツ世代の広がりをめざし活動を行なっている	2	スポーツ世代の広がりをめざし活動を行なっている	2	スポーツを通じた地域づくりを目指しているが、結果に対する評価は難しい	2	スポーツを通じた地域づくりを目指しているが、十分な結果は得られていない	2	スポーツを通じた地域づくりを目指しているが、結果に結果についていない。	2	スポーツを通じた地域づくりを目指しているが、効果は出ていない。	2

浜風スポーツクラブ21

平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
200人		180人		200		200人		200人		200人	
200人		180人		200		200人		200人		200人	
7,273人		7,260人		7,267		7,181人		7,200人		7,040人	
2.74%		2.47%		2.75%		2.79%		2.78%		2.84%	
現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
現在10種目 12クラブが登録している	5	できている(11種目)	5	10種目 14クラブが登録している	5	現在10種類 14クラブが登録している。空手2クラブ フットサル4クラブ	5	昨年同様 10種類 14クラブが登録している 空手2クラブ フットサル4クラブ	5	14種目のスポーツ活動を行っている。	5
小学生が参加できるバトン、ダンス等があれば良いと思う	5	各クラブの活動の他一般住民対象にスポーツ体験や交流会なども実施している	4		5	上記のほかに 年1回スポーツ交流会で障がい者スポーツやニュースポーツの紹介をしている	5	年1回スポーツ交流会で地域住民むけスポーツの機会を提供	5	幼稚園～高齢者まで対応。	5
とっている	5	クラブにみあった活動体制はとれている	4		5	幼稚園から後期高齢者まで参加されている。	5	幼児から高齢者まで参加できるスポーツの種類がある	5	特になし	5
各クラブが利用している	5	今のところ問題なし	5	会議や、備品(冷蔵庫、PC、コピー機、印刷機等)の使用などに各登録クラブが利用。	5	浜風コミスクと共有のクラブハウスがある。備品も共有	5	浜風コミスクと共有のクラブハウスがある。備品も共有している。	5	コミスクと併用。グラウンドに近く便利。	5
とっている	5	とっている	5	自主運営をしている。	5	自主的に運営できている。	5	自主的に運営できている	5	まだ助成金は残っているが、自主運営は可能。	3
いずれ(基金が無くなれば)値上げが必要	4	整っている	4	各登録クラブの運営はOK。クラブハウス・備品などの維持には将来会費の値上げが必要。	5	印刷機など備品の購入修理に備えて、助成金がなくなる前に値上げの検討が必要。	4	交流会に参加費徴収。備品の購入修理に備えて会費の値上げは要検討。	4	整っている。	5
自治会、学校と連携・協力ができている	5	多いに図られている	5	自治会、学校、老人会などの地域団体との連携、協力は図られている。	5	学校、地域団体(コミスク、芦屋浜自治連合会など)との連携はとれている。	5	学校、地域団体(コミスク 芦屋浜自治連合会など)とは連携がとれている。	5	学校とは連携。	5
できる	5	基金が終わるまでに計算できるように収入増を画策中	4	できる。	5	印刷機などの大型備品の管理以外は 十分自主運営できる。	4	物置、印刷機など大型備品の管理以外は、十分自主運営できる	5	できる。	5
年2回広報紙を発行、各行事についてはその都度ポスター・チラシを配布	5	広報紙年2回 他 ちらし、ポスターなどで発信している	5	年2回広報発行(全戸配布)。行事毎にポスター掲示、ちらし(学校を通じて)配布。	5	年2回の広報を浜風小学校区の全戸に配布 行事ごとにポスター掲示	5	広報紙(年2回)を全戸配布。行事ごとにちらしを小学校児童に配布、ポスター掲示。	5	年2回の広報誌、行事ごとのちらし、ポスター	5
必要に応じて	5	地域事業においてはある程度図られている	4	推進委員会への参加。その他必要に応じて。	5	芦屋市スポーツクラブ21連絡協議会の場で情報交換	5	芦屋市スポーツクラブ21連絡協議会の場で情報交換。	5	連絡協議会で情報交換。	4
従来より活動していたので大きな変化はない	3	最近自治会と協働して活動することが多い	3	よくわからない。	3	あまり変わりはない	3	よくわからない。広報紙やネットで見て、住民から加入の問合せはある。	3	特になし	3
よくわからない	3	あまり感じない	3	よくわからない。	3	あまり変わりはない	3	よくわからない。近隣のクラブとは何をさせているのか?	3	特になし	3
基金のおかげで活動が充実し、地域にむけた行事も活	5	設立による変化はあまり感じない	3	助成金のおかげで地域にむけた行事も充実した。	5	あまり変わりはない	3	設立時は活性化したと思う。昨年との比較では、あまり変わらない。	3	特になし	3

## 平成28年度

日程	全県連絡協議会
6月10日	第1回全県連絡協議会 (1)平成28年度・平成29年度役員について (2)平成27年度全県連絡協議会決算(案)及び監査報告 (3)平成28年度「スポーツクラブ21ひょうご」取組(案) (4)平成28年度「スポーツクラブ21ひょうご」収支予算(案) (5)全県スポーツサミットについて (6)総合型地域スポーツクラブ近畿ブロック連絡協議会 規約(案)について (7)ヒューマンエラー防止研修会について (8)会費の納入について (9)全県連絡協議会特別会計の活用について
6月25日	全県スポーツ大会 5×5(ゴ-ゴ-)ビンゴ大会(伊丹市)
7月10日	全県スポーツ大会 ソフトバレーボール大会(多可町)
9月3日	平成28年度生涯スポーツ指導者阪神・丹波地区研究会(宝塚市) (1)講義:「スポーツを楽しむとは」 (2)実技:「ロコモティブシンドロームを防ぐために」
9月17日	第2回全県連絡協議会 (1)平成28年度全県スポーツサミットについて (2)平成28年度全県スポーツ大会について (3)総合型地域スポーツクラブ登録制度の創設に向けた検討状況等について (4)全県連絡協議会特別会計の活用について (5)総合型地域スポーツクラブ近畿ブロック連絡協議会及び近畿ブロッククラブネットワークアクション2016について (6)オリンピック・ムーブメントに関連した取り組みについて (7)クラブマネジメント研修会について (8)クラブアドバイザー派遣事業について
10月13日	全県スポーツ大会 グラウンド・ゴルフ交流大会(南あわじ市)
10月15日	近畿ブロッククラブネットワークアクション2016 (1)「地域スポーツクラブへの障がい者スポーツの導入」 (2)基調講演「住民自らが創り出す地域の“居場所”」 (3)グループワーク「私にとっての居場所」
10月16日	近畿ブロッククラブネットワークアクション2016 (1)「改めて、コミュニティの核となる総合型クラブについて問う」 (2)グループディスカッション
10月22日	全県スポーツ大会 囲碁ボール大会(丹波市)
11月27日	全県スポーツ大会 小学生バレーボール大会(加古川市)
12月4日	全県スポーツ大会 ソフトバレーボール大会(養父市)

12月10日 ～11日	全県スポーツ大会 ミニバスケットボール大会(加古川市)
12月11日	「スポーツクラブ21ひょうご」全県スポーツサミット
1月14日	全県スポーツ大会 あじさいロードレース大会(神戸市)
3月3日	第3回全県連絡協議会 (1)平成28年度全県交流事業報告及び平成29年度収支決算(見込み) (2)平成29年度取組(案)及び平成29年度収支予算(素案) (3)平成29年度全県スポーツサミットについて (4)今後の全県連絡協議会と特別会計の活用について (5)平成28年度総合型地域スポーツクラブ全国協議会総会 (6)平成29年度ひょうご広域スポーツセンター事業(案) (7)Tシャツ・ポロシャツ販売について (8)平成29年度「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業

日程	阪神地区連絡協議会
6月15日	第1回阪神地区連絡協議会 (1)平成28年度全県連絡協議会(6/10)の報告 (2)阪神地区連絡協議会について (3)全県スポーツ大会について
9月28日	第2回阪神地区連絡協議会 (1)平成28年度第2回全県連絡協議会(9/17)報告 (2)平成28年度全県スポーツ大会「5×5(ゴ-ゴ-)ビンゴ大会」について (3)平成28年度全県スポーツサミットについて (4)平成28年度阪神地区交流フェスティバルについて (5)情報交換
3月4日	「スポーツクラブ21ひょうご」阪神地区交流フェスティバル in Nishinomiya (1)「誰もができるスポーツ体験会」 (2)「親子でからだを動かそう!!」2～3歳の部 (3)「親子でからだを動かそう!!」4～5歳の部 (4)シニア向け健康体操「貯筋運動」 (5)公式ワナゲ体験
3月15日	第3回阪神地区連絡協議会 (1)平成28年度第3回全県連絡協議会(3/3)報告 (2)平成28年度阪神地区交流フェスティバルIn Nishinomiya報告 (3)平成28年度会計監査報告 (4)平成29年度全県スポーツ大会について (5)平成29年度阪神地区交流フェスティバルについて (6)平成29年度全県スポーツサミット交流会について (7)情報交換

平成28年度

(平成28年4月～平成29年3月)

日程	芦屋市連絡協議会
4月7日	第1回芦屋市連絡協議会三役会 (1)会長・副会長・会計の役割 (2)全県連絡協議会について (3)阪神地区連絡協議会について (4)芦屋市連絡協議会について (5)推進委員会について (6)今年度の予定(指針)について
4月～5月	各スポーツクラブ21にて総会
6月16日	第1回芦屋市連絡協議会 (1)平成28年度SC21阪神地区連絡協議会(第1回)について(報告) (2)全県スポーツ大会「5×5ビンゴ大会」について (3)運営費等補助事業実施状況について(県体協より説明) (4)平成28年度クラブマネジメント研修会について(県体協より説明) (5)情報交換
6月27日	平成27年度の基金に係る書類を県教委へ提出
10月7日	第2回芦屋市連絡協議会 (1)全県スポーツ大会「5×5ビンゴ大会」について (2)平成28年度「SC21ひょうご」芦屋市推進委員会について(報告) (3)ヒューマンエラー防止研修会について(報告) (4)平成28年度SC21阪神地区連絡協議会(第2回)について(報告) (5)SC21ひょうご全県スポーツサミットについて (6)情報交換
11月2日	第2回芦屋市連絡協議会三役会 (1)課題について (2)今後の動きについて
12月1日	第3回芦屋市連絡協議会 (1)近畿ブロッククラブネットワークアクション2016について(報告) (2)SC21第2回市町担当者連絡協議会について(報告) (3)SC21ひょうご全県スポーツサミットについて (4)「2017あしやスポーツフォーラム」について (5)阪神地区交流フェスティバルについて (6)コミスク活動との連携・課題について (7)SC21芦屋市連絡協議会の今後の予定について (8)情報交換
2月20日	第3回芦屋市連絡協議会三役会 (1)課題について (2)アンケート調査結果について
3月24日	第4回芦屋市連絡協議会 (1)SC21ひょうご阪神地区交流フェスティバルin Nishinomiyaについて(報告) (2)SC21ひょうご阪神地区連絡協議会(第3回)について(報告) (3)会計決算報告について (4)情報交換

日程	推進委員会及び実務者会議等
4月27日	第1回市町担当者連絡協議会 (1)平成28年度「スポーツクラブ21ひょうご」事業説明 他 (2)研修会「ユニバーサルスポーツの推進」 (3)グループ協議「各市町における『スポーツクラブ21ひょうご』の役割」 (4)ひょうご広域スポーツセンターについて (5)クラブマネジメント研修会について (6)事例研修 ①「地元大学と連携したスポーツクラブの活動について」福崎町 ②「障害者スポーツへの取組～はじめの一歩～」加西市 (7)グループ協議:各市町における「スポーツクラブ21ひょうご」を核としたスポーツ推進について
8月31日	芦屋市推進委員会 (1)平成27年度事業・決算報告及び平成28年度事業計画・予算について (2)クラブ育成についてチェック表及び運営上の課題・悩みや将来の構想等についての意見交換 (3)芦屋市・阪神・兵庫県の連絡協議会の活動報告
11月25日	第2回市町担当者連絡協議会 (1)「スポーツクラブ21ひょうご」の現状と課題 (2)補助金の活用について (3)クラブの統合等について (4)助成金の活用について (5)研修会「『新しい公共』の担い手を育てる行政の役割 ～総合型地域スポーツクラブとの連携・協働を考える～」

平成29年度

日程	全県連絡協議会
6月9日	第1回全県連絡協議会 (1)平成28年度全県連絡協議会決算(案)及び監査報告 (2)平成29年度「スポーツクラブ21ひょうご」取組(案) (3)平成29年度全県連絡協議会収支予算(案) (4)全県スポーツサミットについて (5)会費の納入について (6)全県連絡協議会特別会計の活用について
7月9日	全県スポーツ大会 ソフトバレーボール大会(多可町)

日程	阪神地区連絡協議会
6月28日	第1回阪神地区連絡協議会 (1)平成29年度阪神地区連絡協議会について (2)平成29年度全県スポーツ大会について (3)平成29年度阪神地区交流フェスティバルについて (4)平成29年度全県連絡協議会(6月9日)の報告 (5)情報交換

日程	芦屋市連絡協議会
4月～5月	各スポーツクラブ21にて総会
6月27日	平成28年度の基金に係る書類を県教委へ提出
7月12日	第1回芦屋市連絡協議会 (1)SC21ひょうご芦屋市連絡協議会の役員変更等について (2)平成29年度SC21阪神地区連絡協議会(第1回)について(報告) (3)全県スポーツ大会「5×5ビンゴ大会」について (4)平成29年度「SC21ひょうご」芦屋市推進委員会について (5)連絡協議会主催事業(仮)について (6)SC21 ひょうご阪神地区交流フェスティバル in Ashiya(仮称)について (7)情報交換
8月2日	第1回芦屋市連絡協議会三役会 (1)全県スポーツ大会「5×5ビンゴ大会」の参加チームについて (2)平成29年度阪神地区交流フェスティバルin Amagasakiについて (3)平成30年度阪神地区交流フェスティバルin Ashiya(仮)について

日程	推進委員会及び実務者会議等
4月25日	第1回市町担当者連絡協議会 (1)推進状況及び平成29年度事業について (2)補助金事務に関する留意点等 (3)統合等に関する調査について (4)ひょうご広域スポーツセンター事業について (5)研修会「『スポーツクラブ21ひょうご』の第2ステージ～行政の視点から～」
8月29日	芦屋市推進委員会